

秋田県沖合域の水溫状況 (平成23年4月)

漁業調査指導船「千秋丸」と沿岸調査船「第二千秋丸」が4月4～6日に行った水溫の観測結果は、次のとおりです。

- 表 層(2ページ) 県北部(St. 22～25)では、平年値と比べて「やや低い」～「かなり低い」水溫となっています。
- 50 m層(3ページ) 県北部(St. 22～25)及び男鹿半島西方沖(St. 5～6)で、「やや低い」～「かなり低い」水溫となっています。
- 100m層(4ページ) 男鹿半島西方沖(St. 1及び5～6)で「やや低い」、秋田市～由利本荘市沖では「やや高い」水溫となっています。
- 200m層(5ページ) 男鹿半島西方の沿岸に近い定点(St. 1～2)で、「やや低い」～「かなり低い」水溫となっています。一方、県南部海域では水溫が高い傾向にあり、特にSt. 10では「はなはだ高い」となっています。

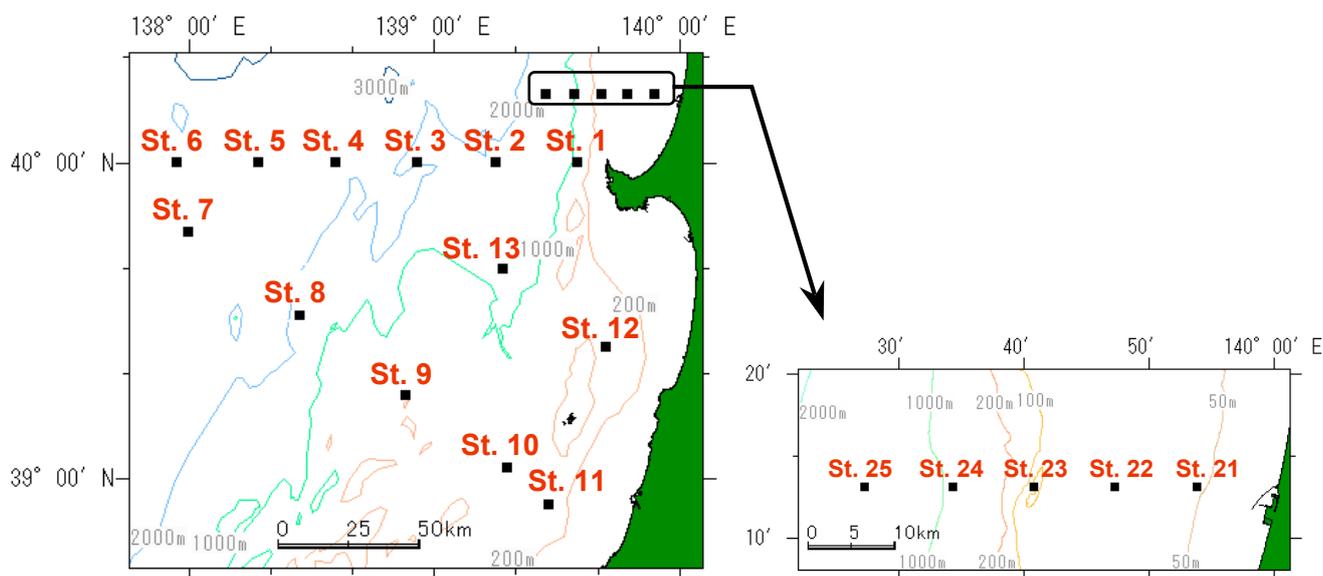


図1 調査船千秋丸及び第二千秋丸による観測定点(St. 1～13; 千秋丸、21～25; 第二千秋丸)

表1 水溫の評価方法

評価	偏差*	
 はなはだ高い	+200以上	(出現確率約20年以上に1回)
 かなり高い	+131～200	(出現確率約10年に1回)
 やや高い	+ 61～131	(出現確率約4年に1回)
 平年並み	± 60以内	(出現確率約2年に1回)
 やや低い	- 61～131	(出現確率約4年に1回)
 かなり低い	-131～200	(出現確率約10年に1回)
 はなはだ低い	-200以下	(出現確率約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)/標準偏差×100
平年値; St. 1～13は1971～2000年まで、21～25は1978～2000年までの平均値

<表層>

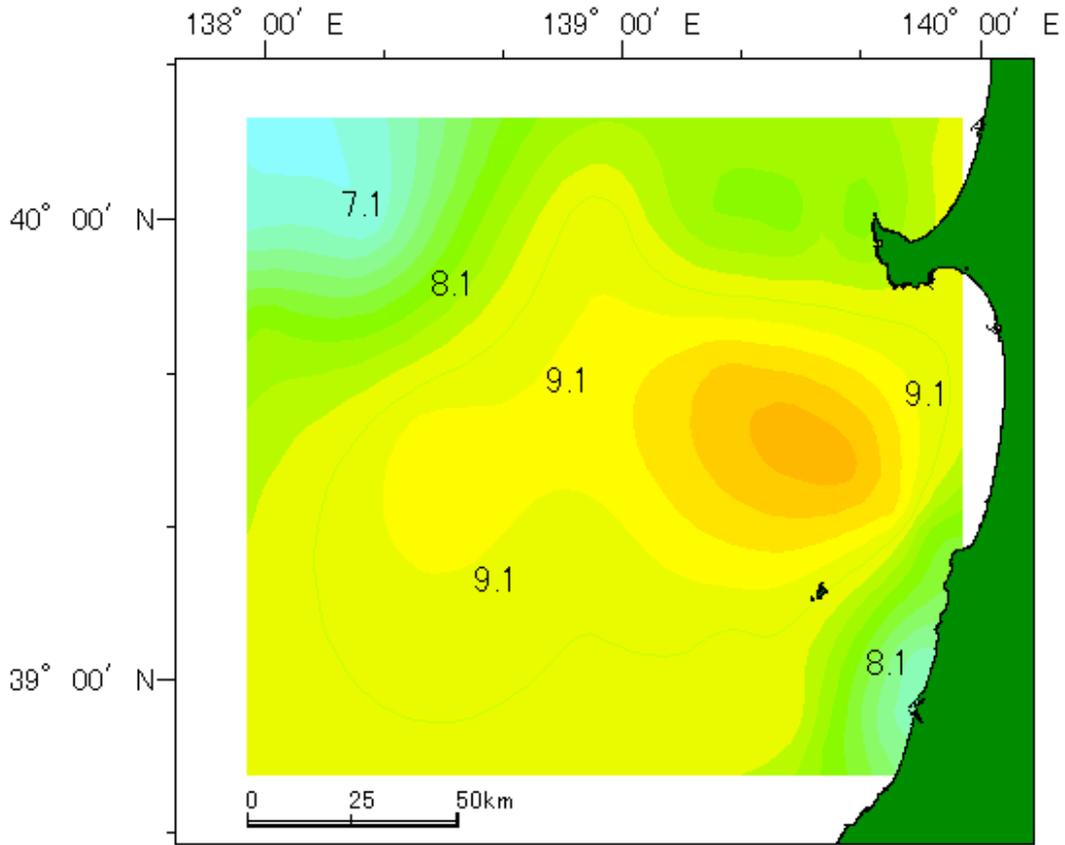


図2 表層の水温分布

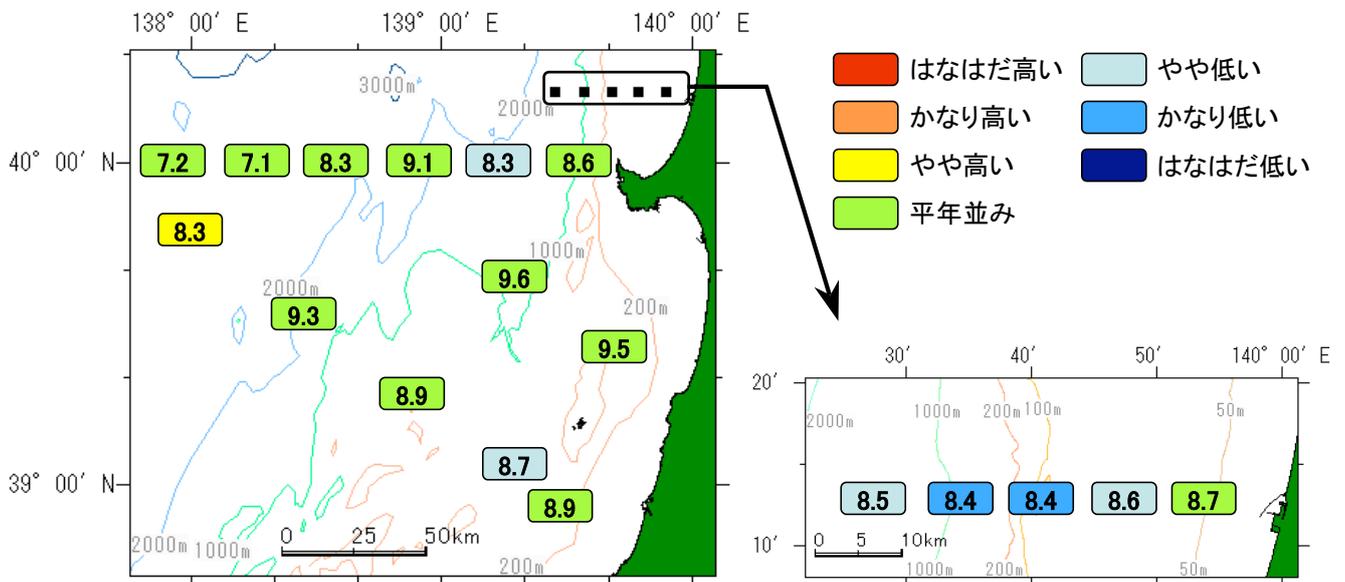


図3 表層における水温度の評価と観測値(°C)

<50m層>

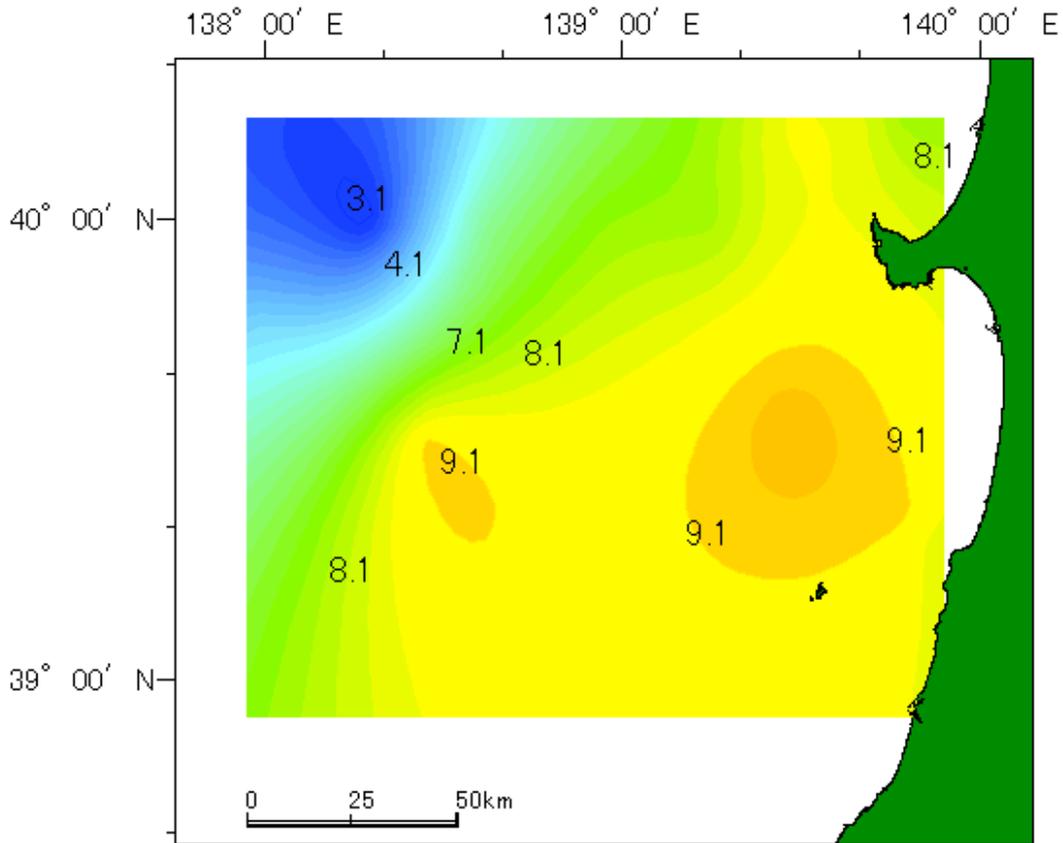


図4 水深50m層の水温分布

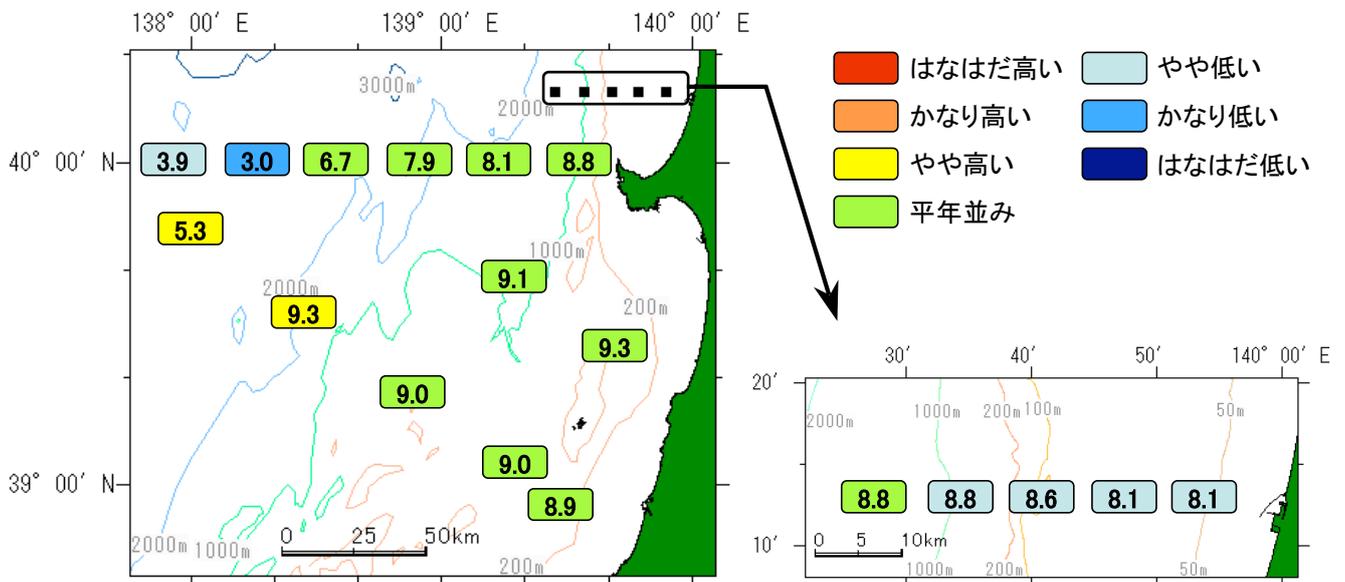


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

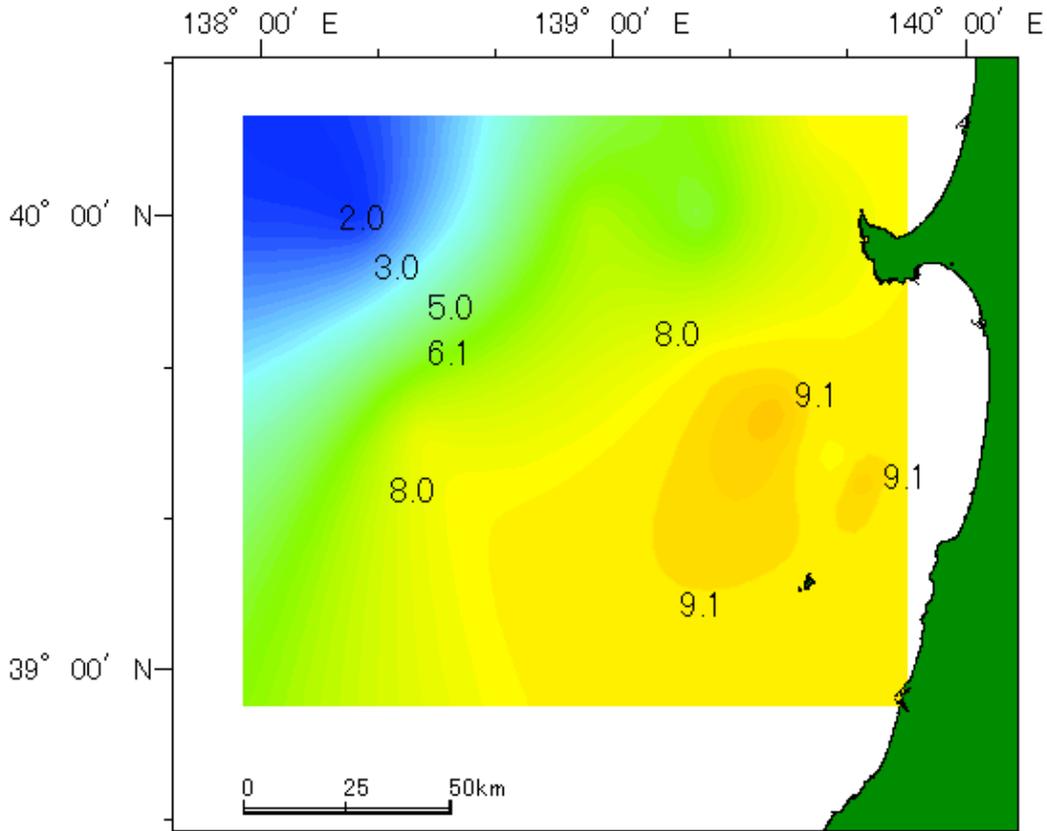


図6 水深100m層の水温分布

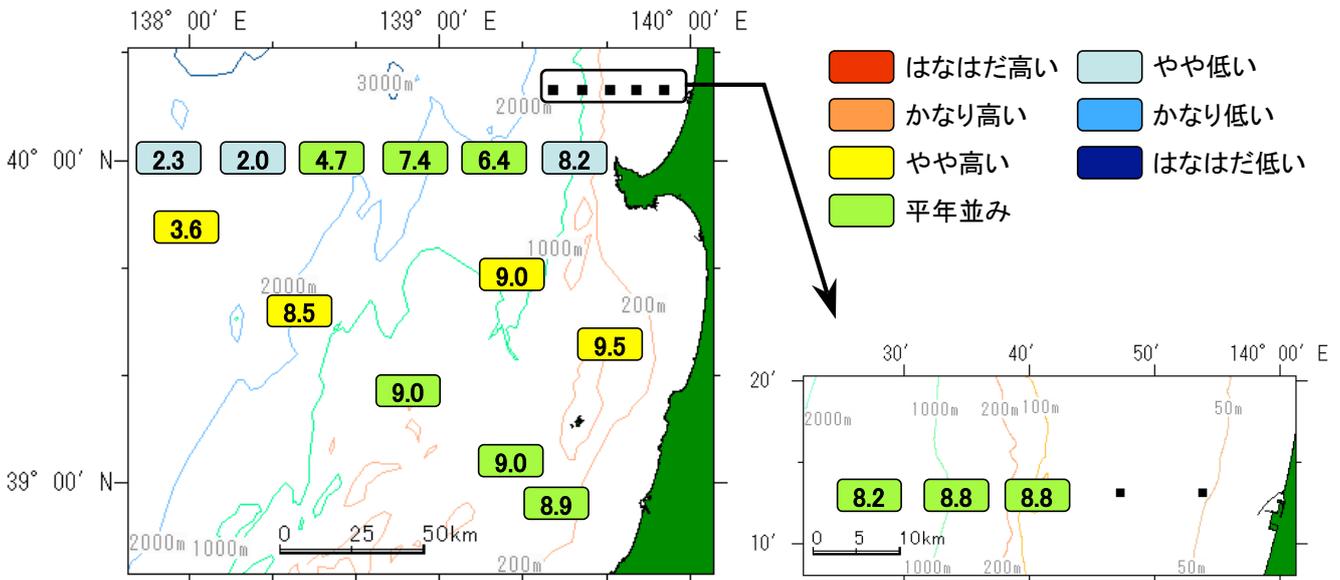


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

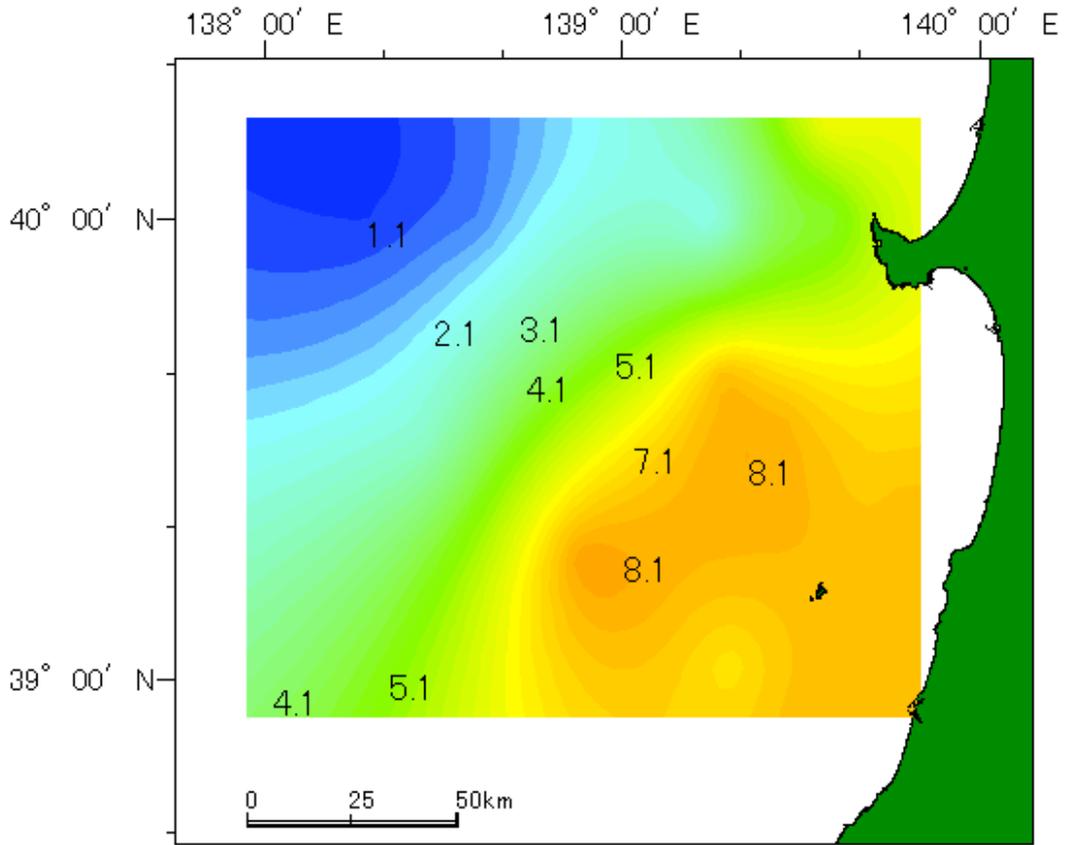


図8 水深200m層の水温分布

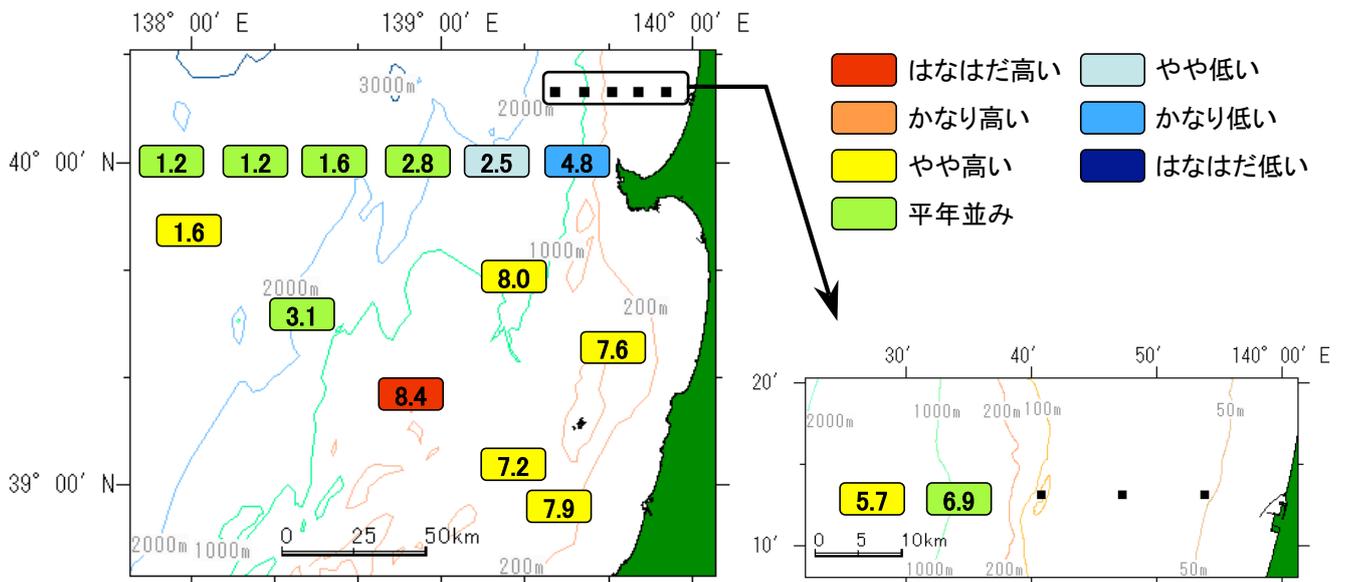


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

秋田県沖合域の水溫状況 (平成23年5月)

漁業調査指導船「千秋丸」と沿岸調査船「第二千秋丸」が5月10～12日に行った水溫の観測結果は、次のとおりです。

表層(2ページ) 水溫は全体的に「やや低い」～「やや高い」となっていますが、由利本荘市の沖合(St. 8)では「かなり低い」水溫です。

50m層(3ページ) 男鹿半島西方の沖合(St. 6、7)で「やや高い」水溫となっています。一方、由利本荘市の沖合(St. 8)では、「はなはだ低い」水溫の冷水域がみられます。

100m層(4ページ) 50m層と似たような傾向を示しており、男鹿半島西方の沖合(St. 6、7)では「やや高い」～「かなり高い」水溫、由利本荘市の沖合(St. 8)では「かなり低い」水溫の冷水域が形成されています。

200m層(5ページ) 男鹿半島西方沖(St. 6、7)で「かなり高い」～「はなはだ高い」水溫となっています。

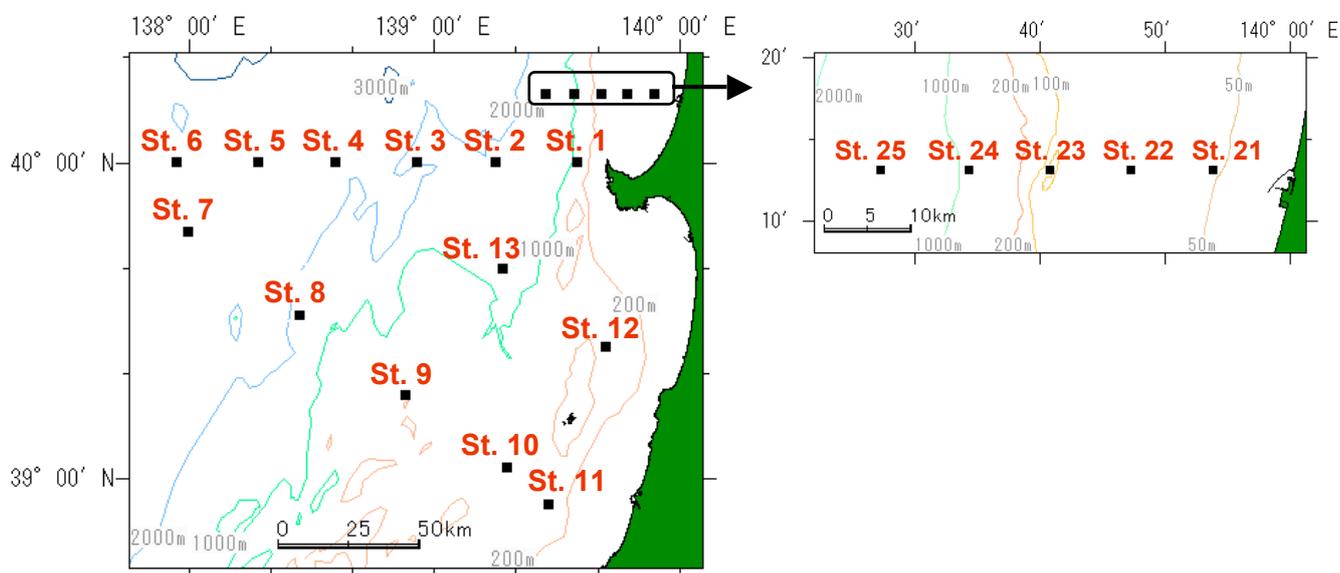


図1 調査船千秋丸及び第二千秋丸による観測定点(St. 1～13; 千秋丸、21～25; 第二千秋丸)

表1 水溫の評価方法

評価	偏差*	
■ はなはだ高い	+200以上	(出現確率約20年以上に1回)
■ かなり高い	+131～200	(出現確率約10年に1回)
■ やや高い	+61～131	(出現確率約4年に1回)
■ 平年並み	±60以内	(出現確率約2年に1回)
■ やや低い	-61～131	(出現確率約4年に1回)
■ かなり低い	-131～200	(出現確率約10年に1回)
■ はなはだ低い	-200以下	(出現確率約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)/標準偏差×100
平年値; St. 1～13は1971～2000年まで、21～25は1978～2000年までの平均値

<表層>

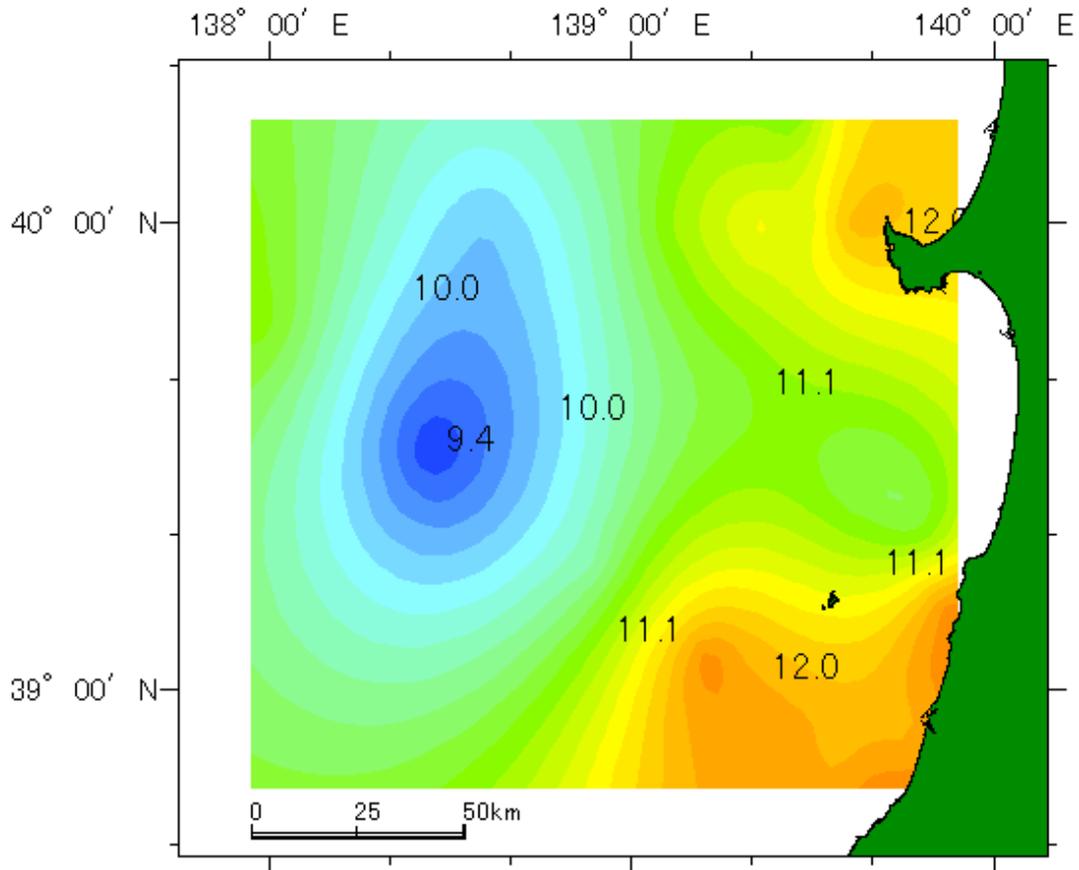


図2 表層の水溫分布

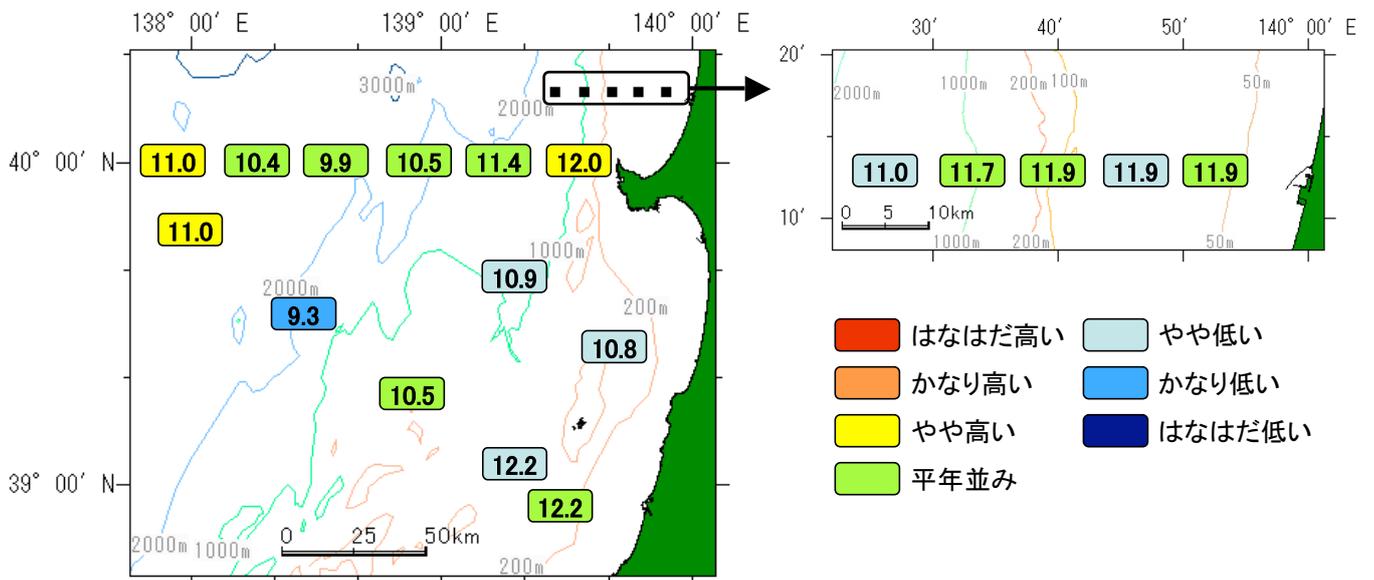


図3 表層における水溫の評価と観測値(°C)

<50m層>

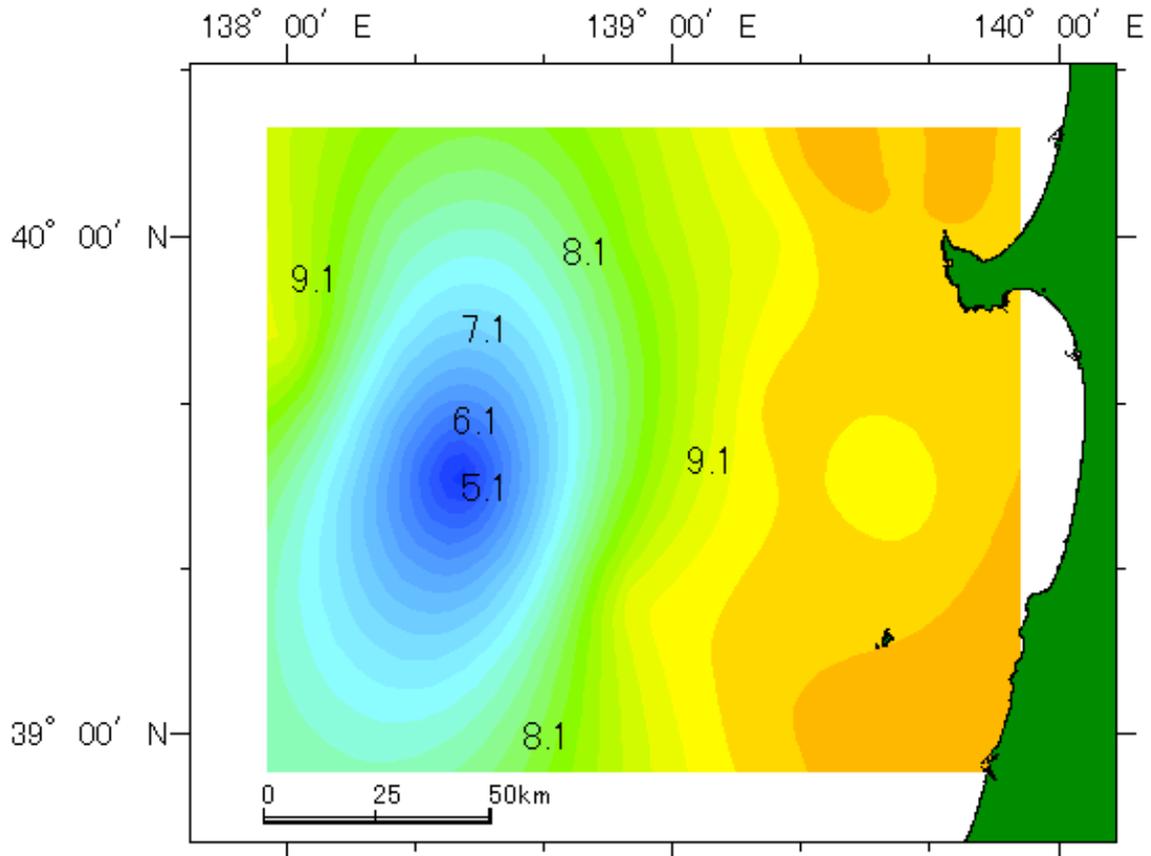


図4 水深50m層の水温分布

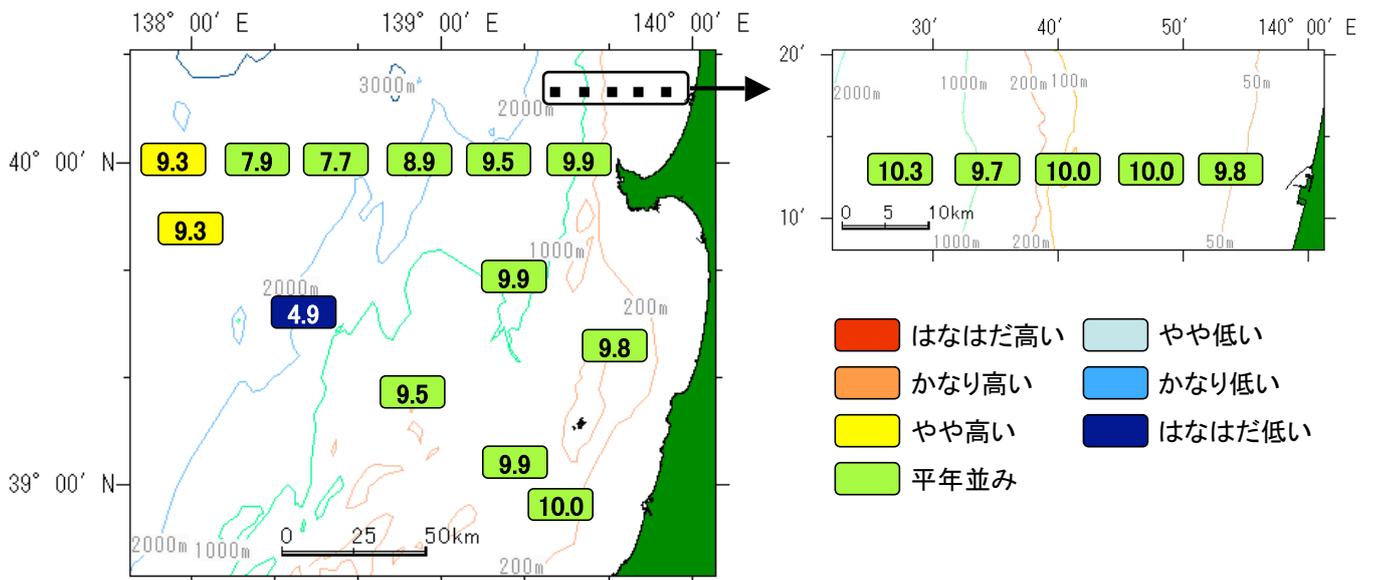


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

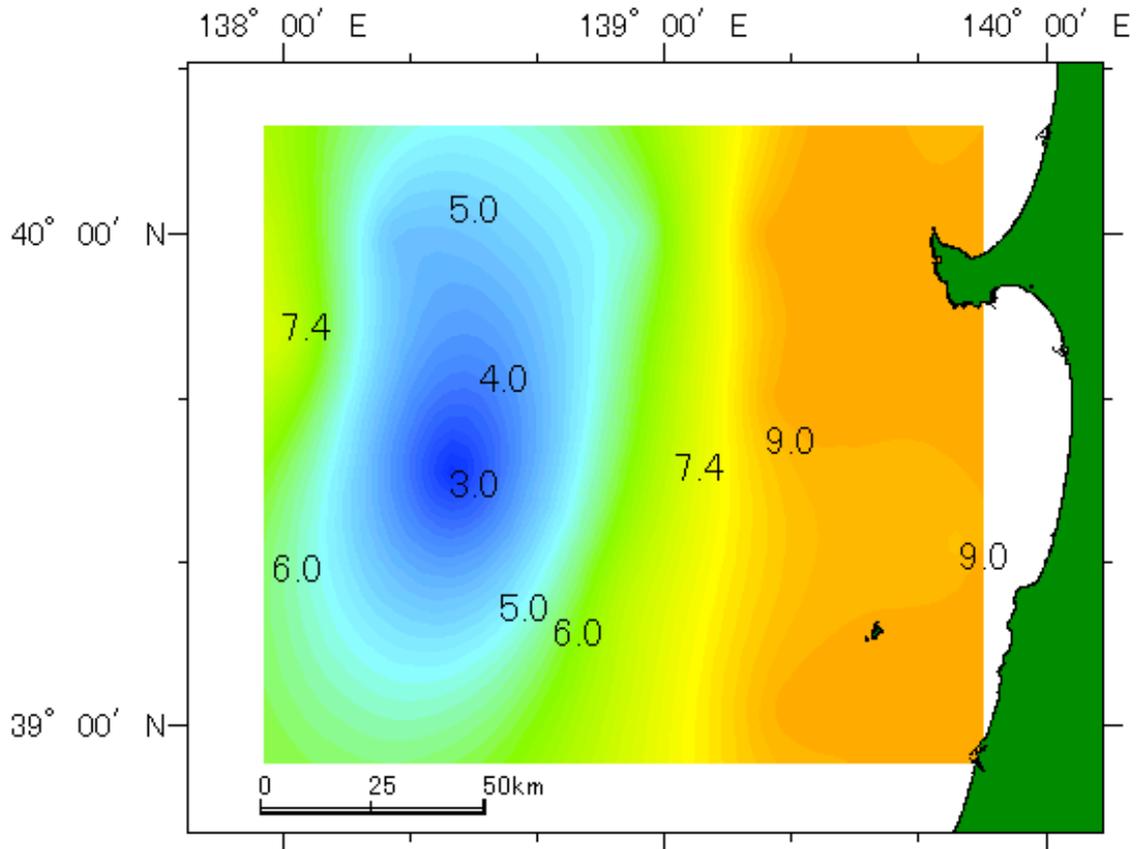


図6 水深100m層の水温分布

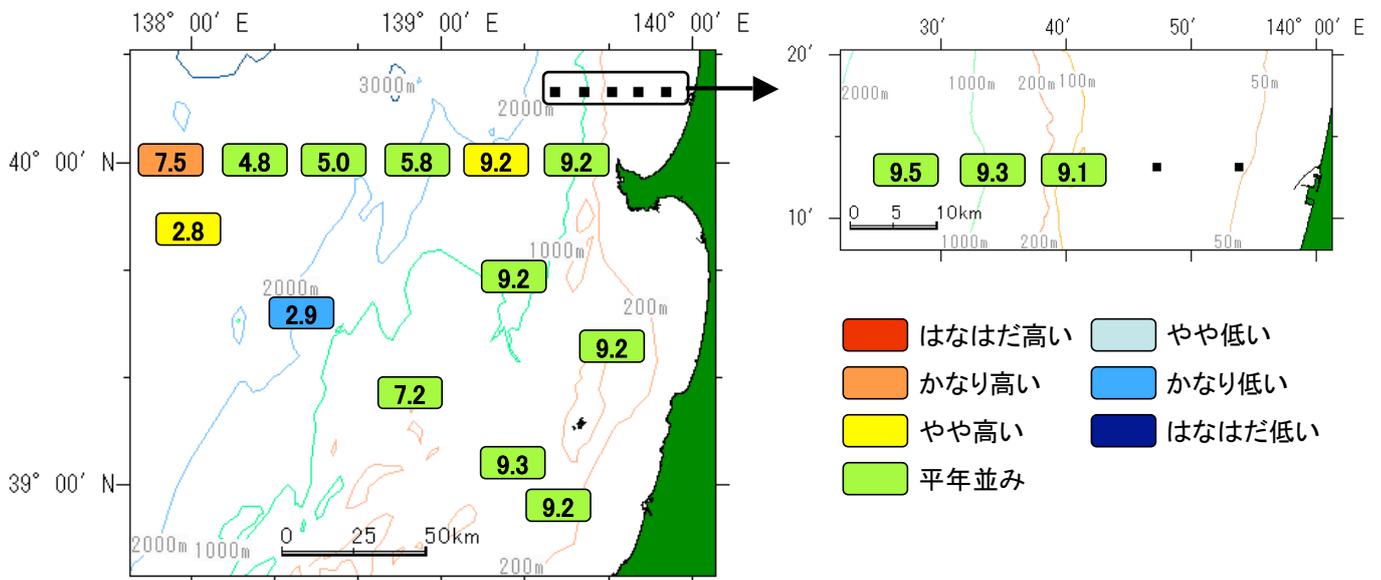


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

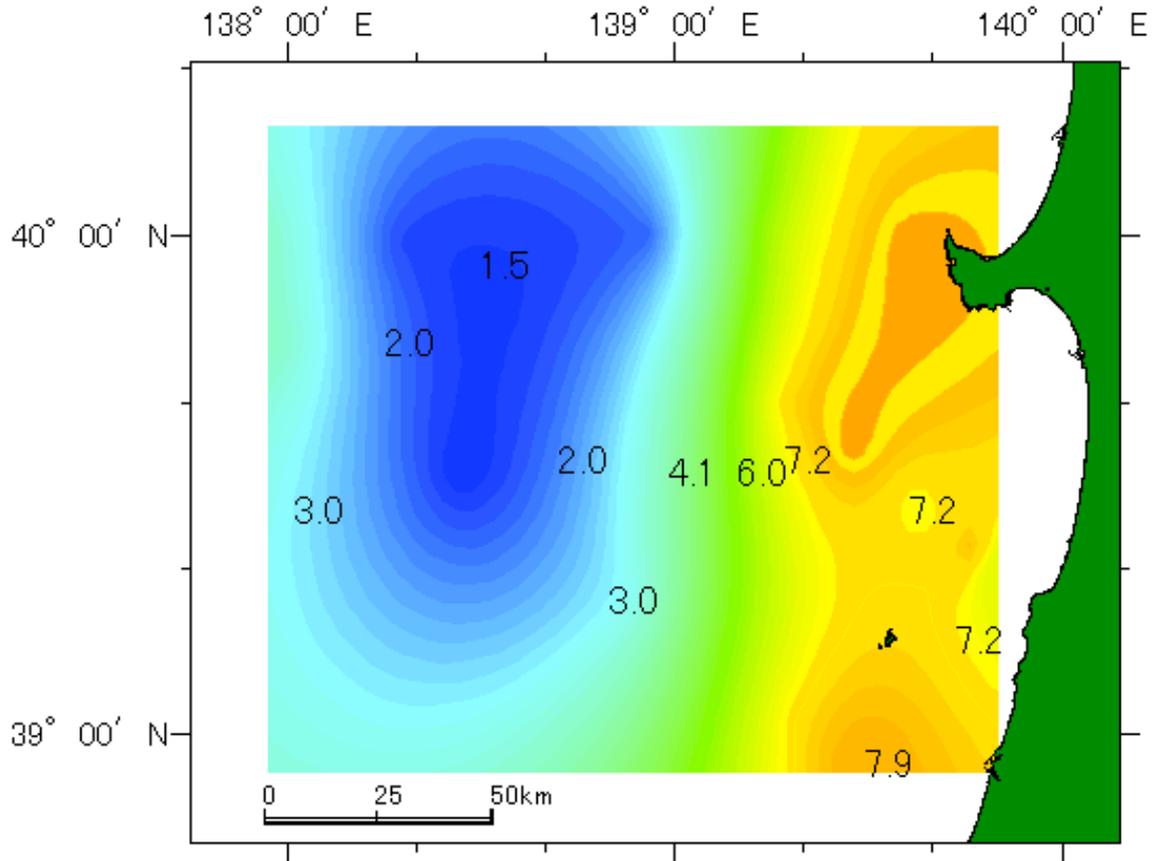


図8 水深200m層の水温分布

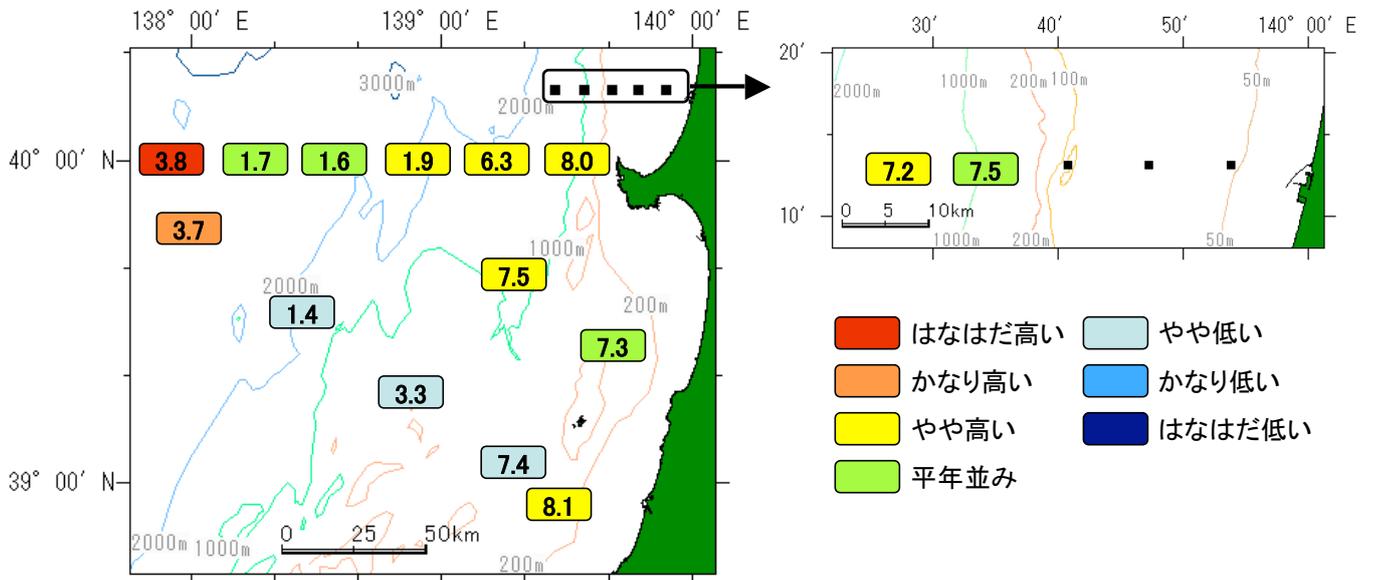


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

秋田県沖合域の水温状況 (平成23年6月)

漁業調査指導船「千秋丸」と沿岸調査船「第二千秋丸」が5月31日～6月1日に行った水温の観測結果は、次のとおりです。

表層(2ページ) すべての観測定点で水温が平年値を1～3℃下回っており、「かなり低い」～「はなはだ低い」水温を示す定点が全県的に見られます。

50 m層(3ページ) 男鹿半島西方の沖合(St. 6、7)で、「かなり高い」水温となっています。一方、秋田市の沖合(St. 13)では、「はなはだ低い」水温の冷水域が形成されています。

100m層(4ページ) 男鹿半島西方の沖合(St. 5～7)で、「かなり高い」～「はなはだ高い」水温となっています。一方、秋田市の沖合(St. 13)では、50m層と同様に「はなはだ低い」水温の冷水域がみられます。

200m層(5ページ) 男鹿半島西方沖(St. 6、7)で、「はなはだ高い」水温となっています。

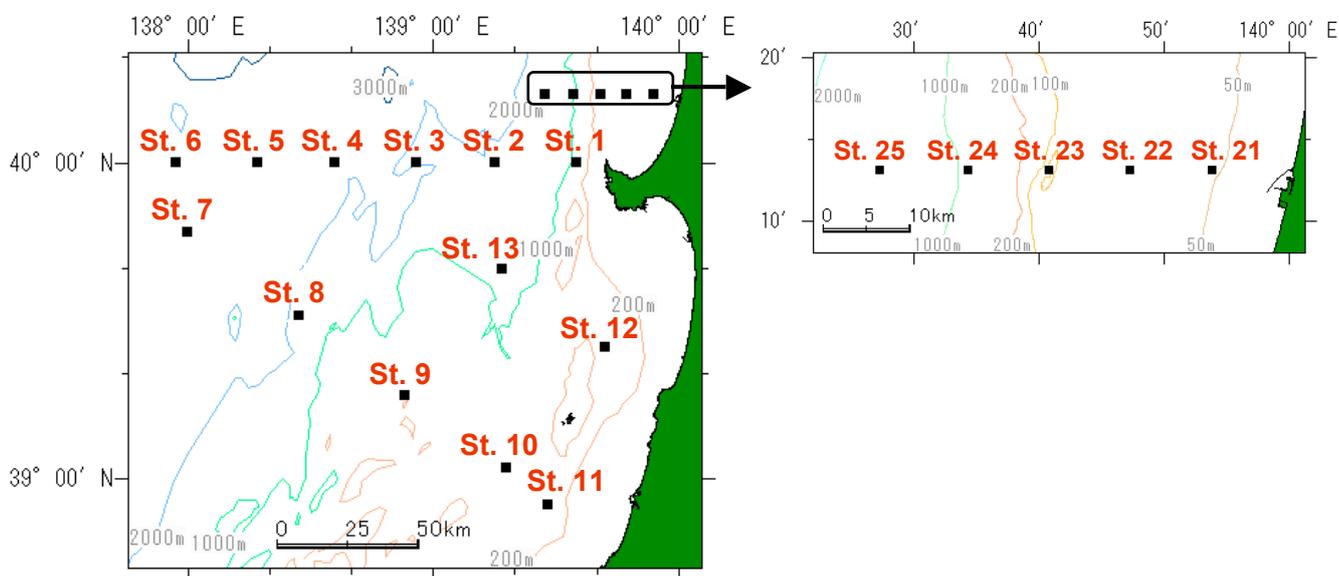


図1 調査船千秋丸及び第二千秋丸による観測定点(St. 1～13; 千秋丸、21～25; 第二千秋丸)

表1 水温の評価方法

評価	偏差*	
はなはだ高い	+200以上	(出現確率約20年以上に1回)
かなり高い	+131～200	(出現確率約10年に1回)
やや高い	+61～131	(出現確率約4年に1回)
平年並み	±60以内	(出現確率約2年に1回)
やや低い	-61～131	(出現確率約4年に1回)
かなり低い	-131～200	(出現確率約10年に1回)
はなはだ低い	-200以下	(出現確率約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)/標準偏差×100
平年値; St. 1～13は1971～2000年まで、21～25は1978～2000年までの平均値

<表層>

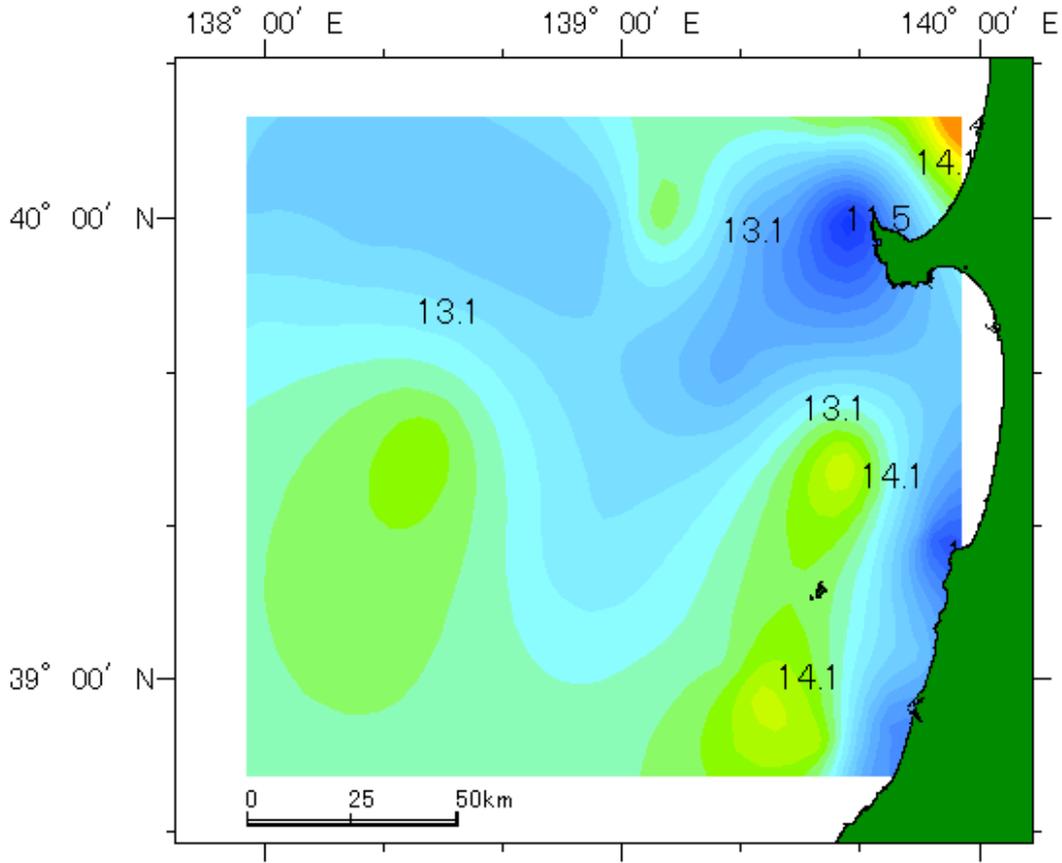


図2 表層の水温度分布

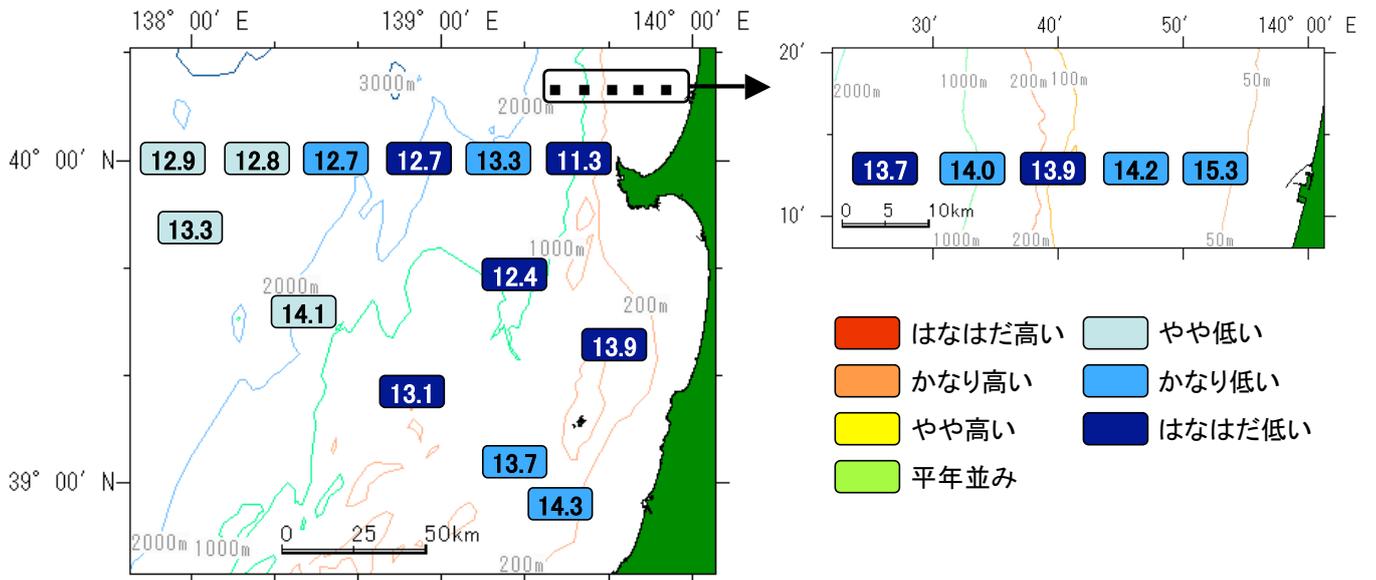


図3 表層における水温の評価と観測値(°C)

<50m層>

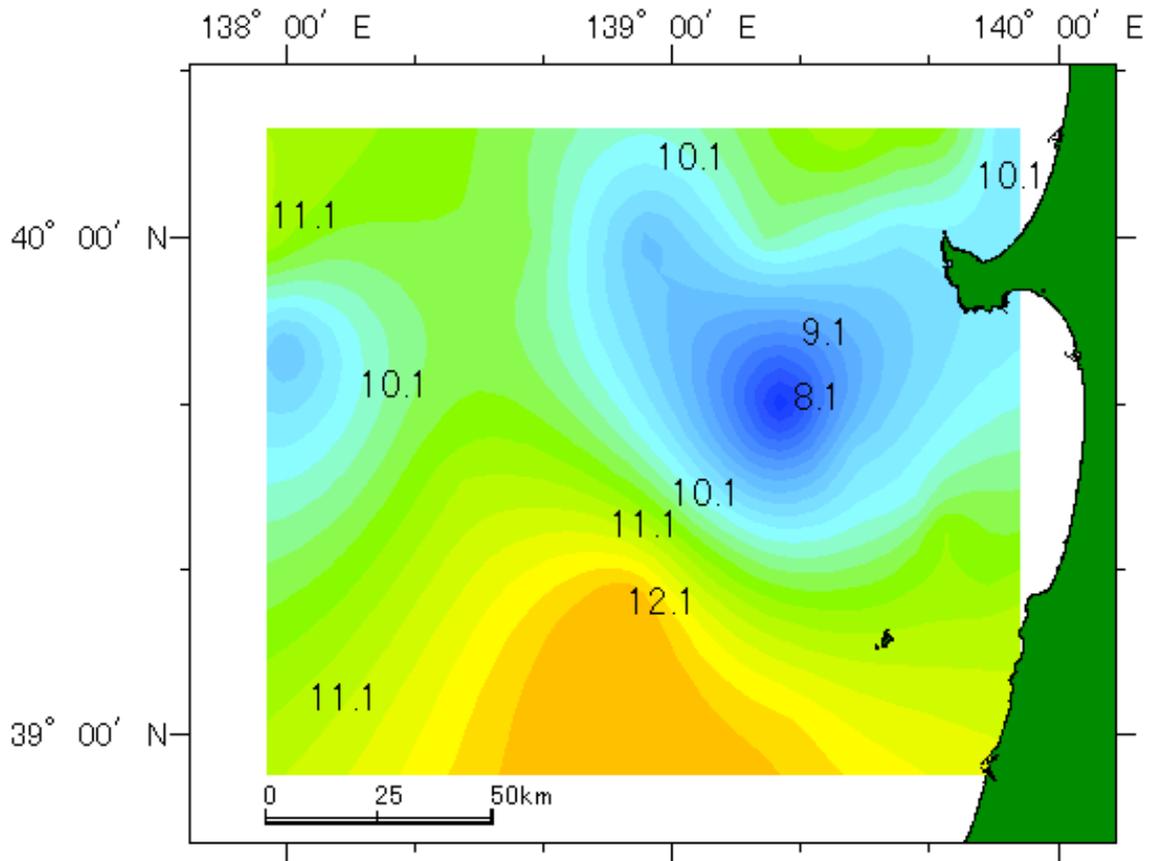


図4 水深50m層の水温分布

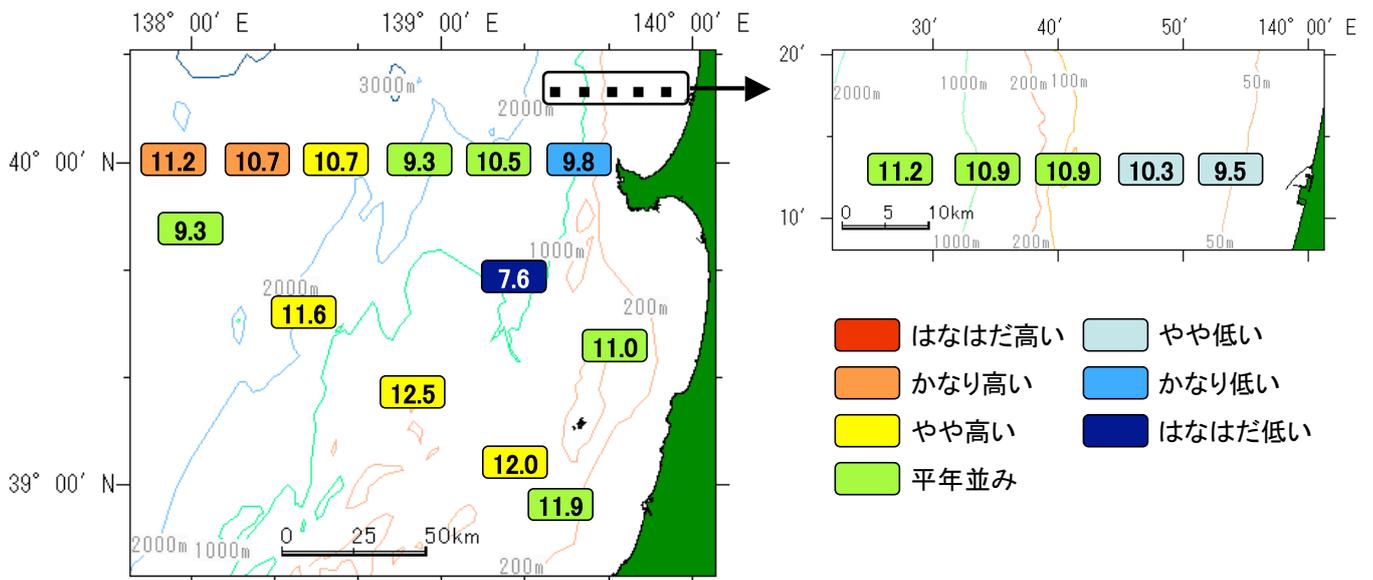


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

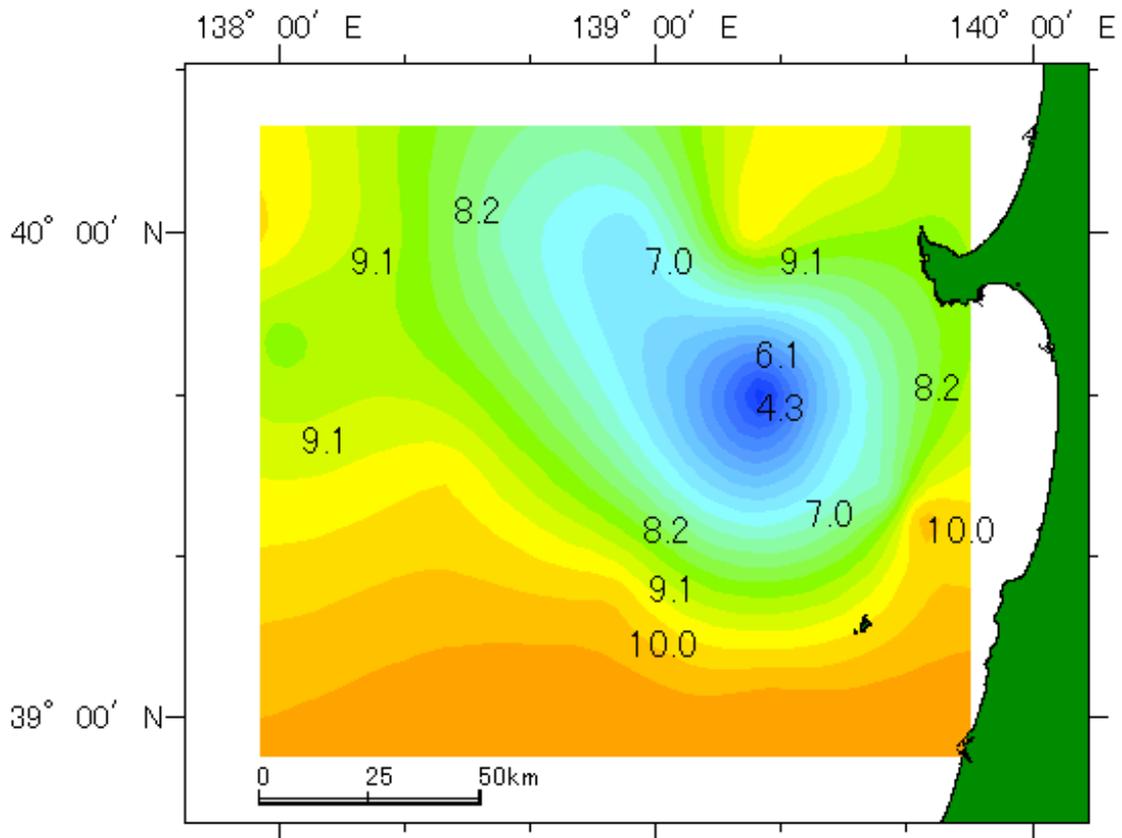


図6 水深100m層の水温分布

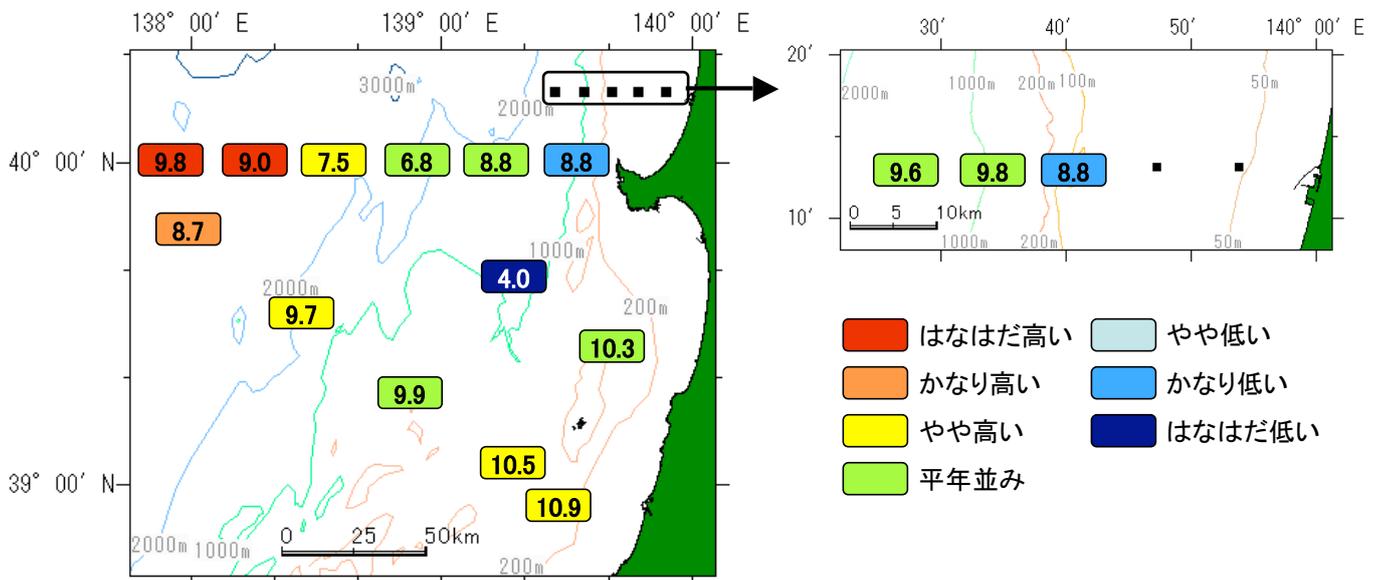


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

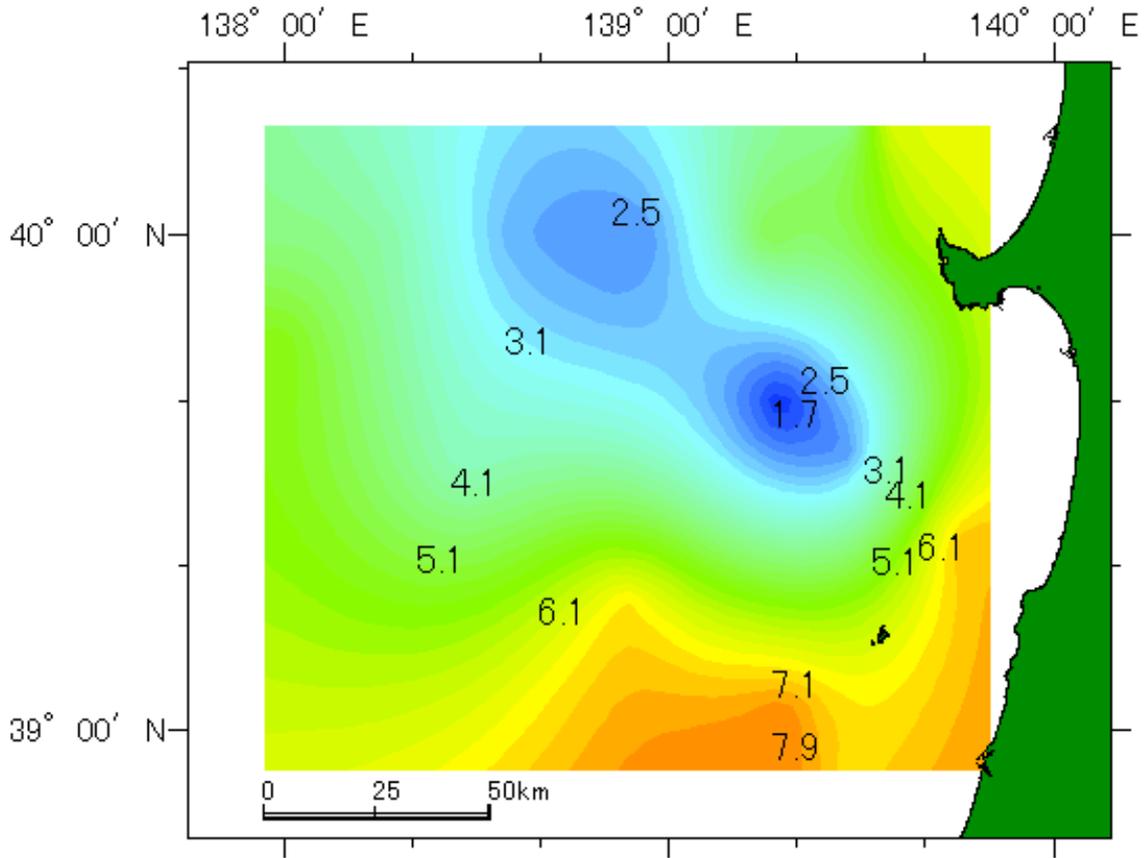


図8 水深200m層の水温分布

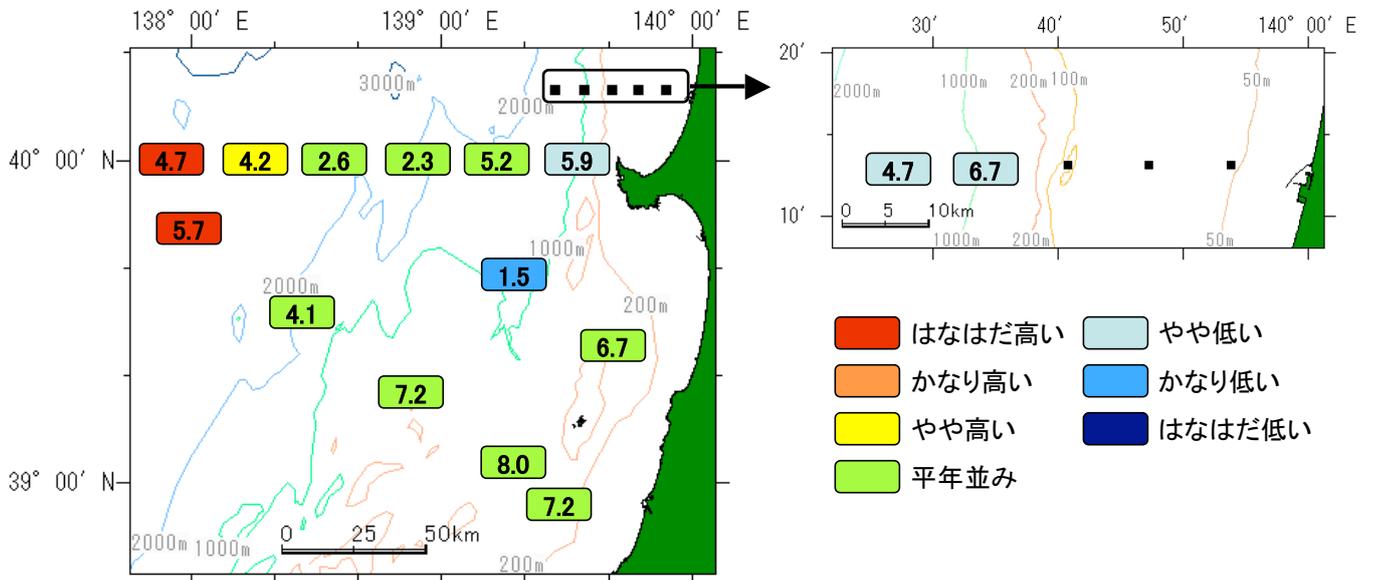


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

秋田県沖合域の水温状況 (平成23年9月)

漁業調査指導船「千秋丸」が9月12日～13日に行った水温の観測結果は、次のとおりです。

表層(2ページ) ほぼ平年並です。

50m層(3ページ) 男鹿半島西方沖(St. 1)で、「かなり高い」水温です。一方、秋田市沖からにかほ市沖(St. 11～13)にかけては、「かなり低い」水温です。

100m層(4ページ) 男鹿半島西方沖(St. 3～5)で、「やや高い」～「かなり高い」水温です。

200m層(5ページ) 男鹿半島西方沖(St. 2～5)及びにかほ市沖(St. 9)で、「かなり高い」～「はなはだ高い」水温です。

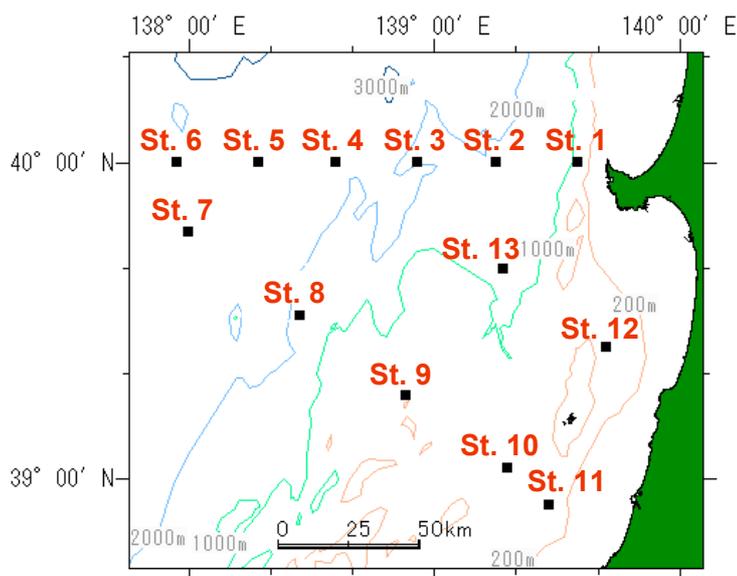


図1 調査船千秋丸による観測定点(St. 1～13)

表1 水温の評価方法

評価	偏差*	
はなはだ高い	+200以上	(出現確率約20年以上に1回)
かなり高い	+131～200	(出現確率約10年に1回)
やや高い	+61～131	(出現確率約4年に1回)
平年並み	±60以内	(出現確率約2年に1回)
やや低い	-61～131	(出現確率約4年に1回)
かなり低い	-131～200	(出現確率約10年に1回)
はなはだ低い	-200以下	(出現確率約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)/標準偏差×100
平年値: St. 1～13は1971～2000年まで、21～25は1978～2000年までの平均値

<表層>

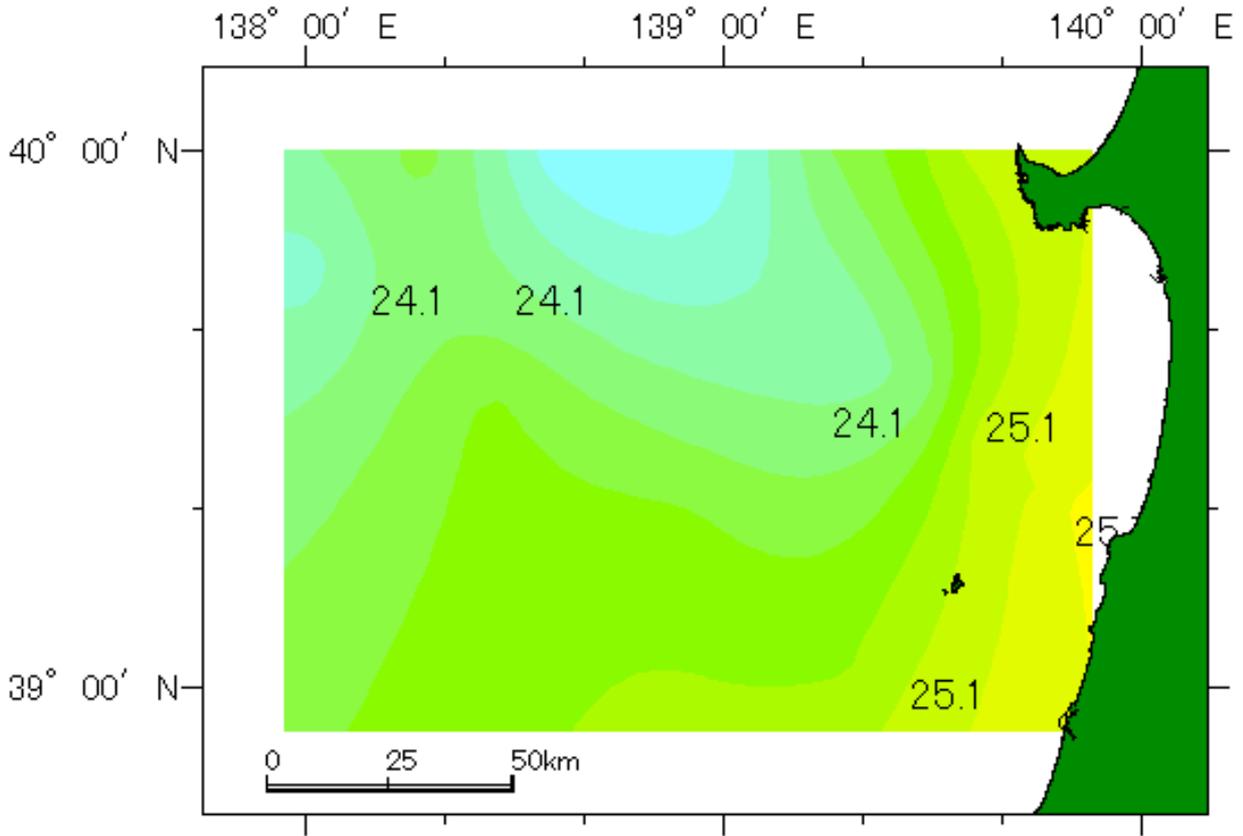


図2 表層の水温分布

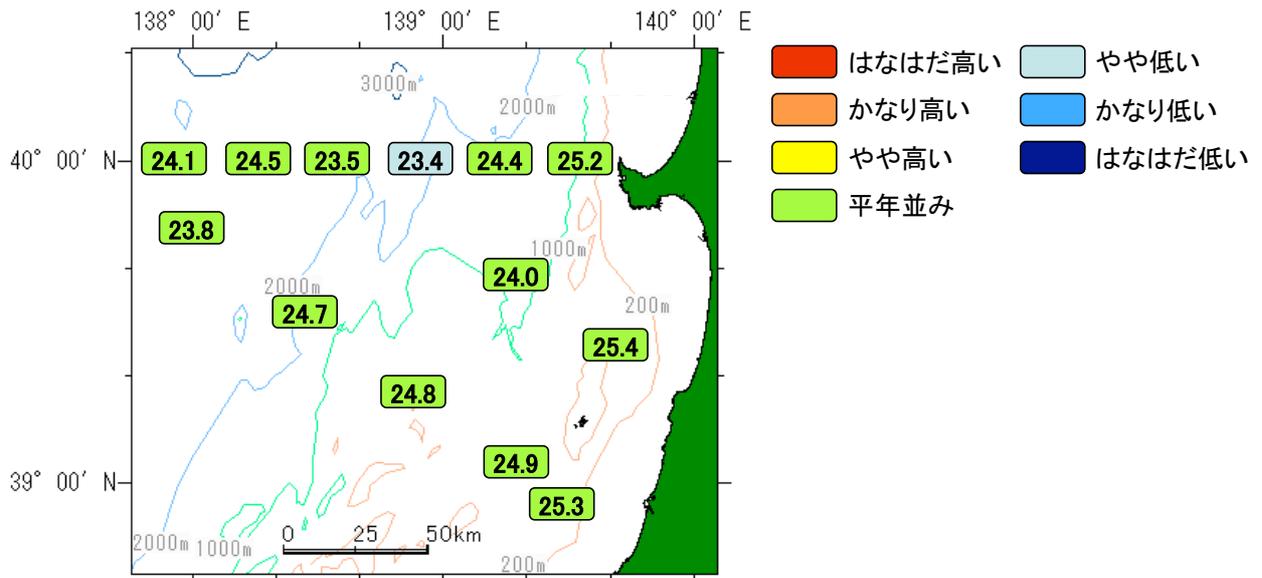


図3 表層における水温の評価と観測値(°C)

<50m層>

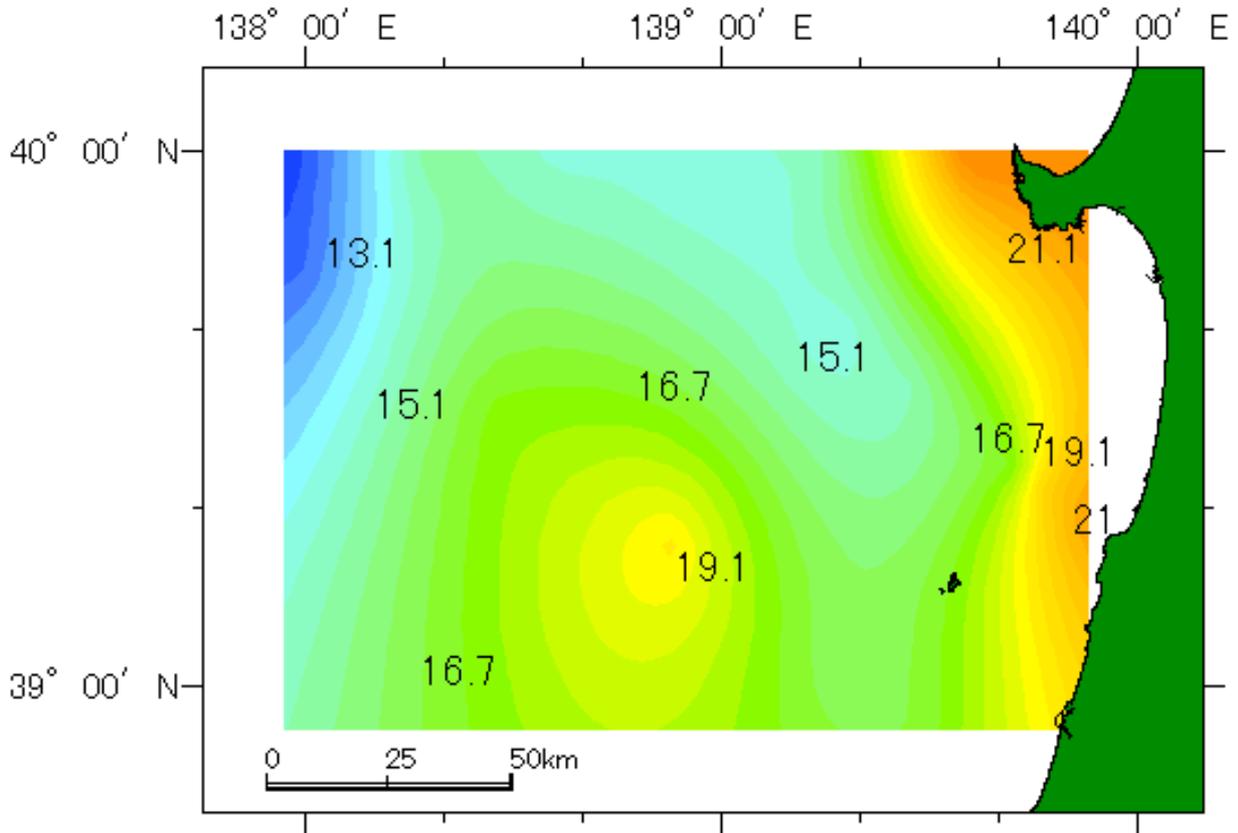


図4 水深50m層の水温分布

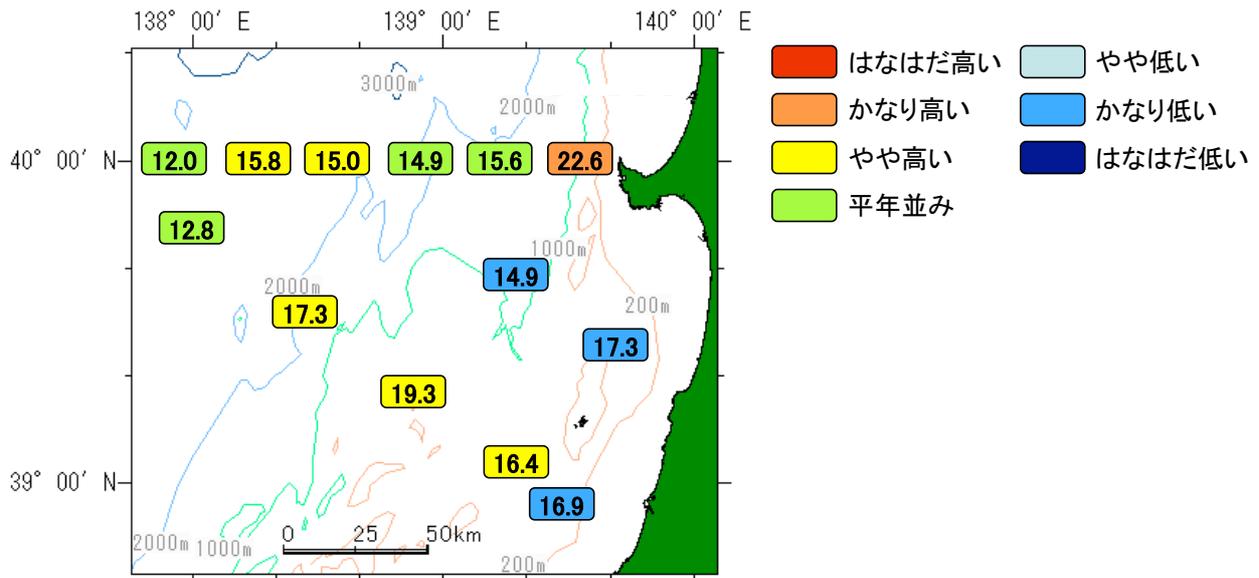


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

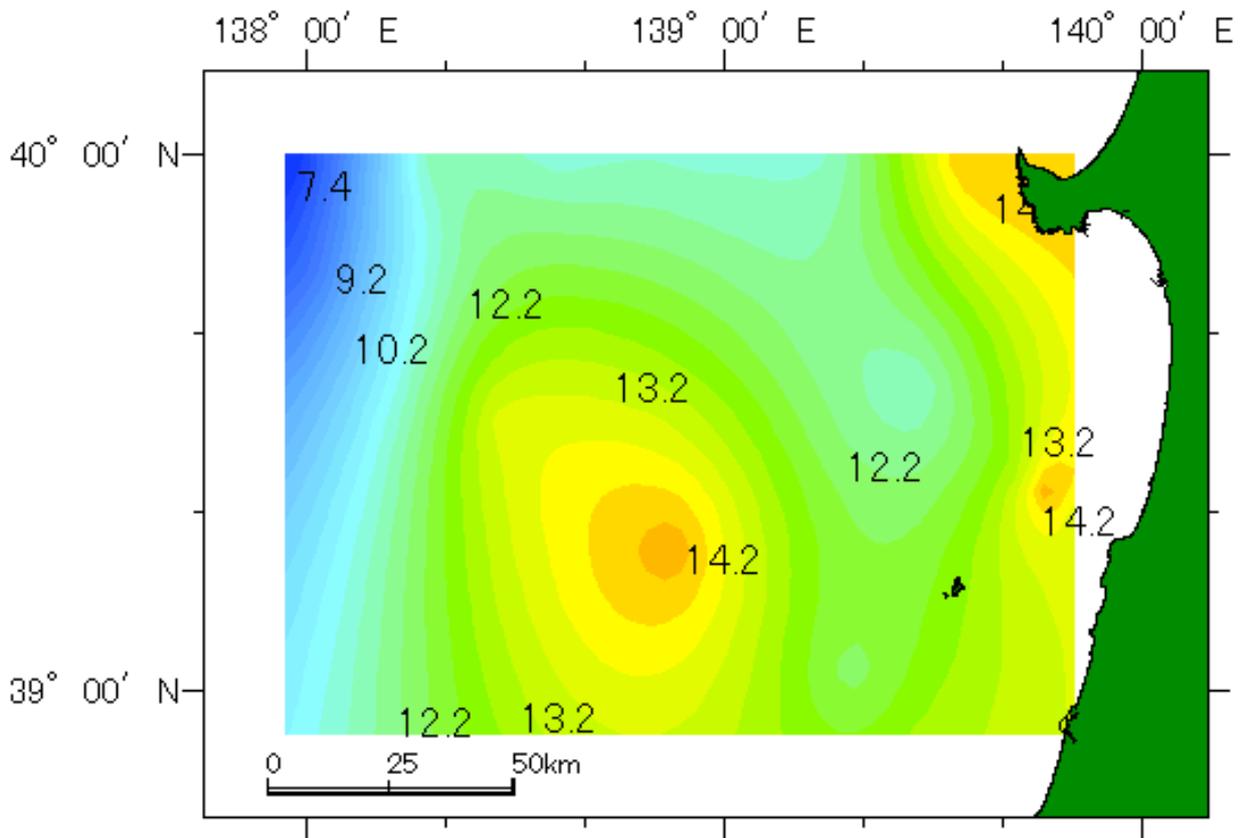


図6 水深100m層の水温分布

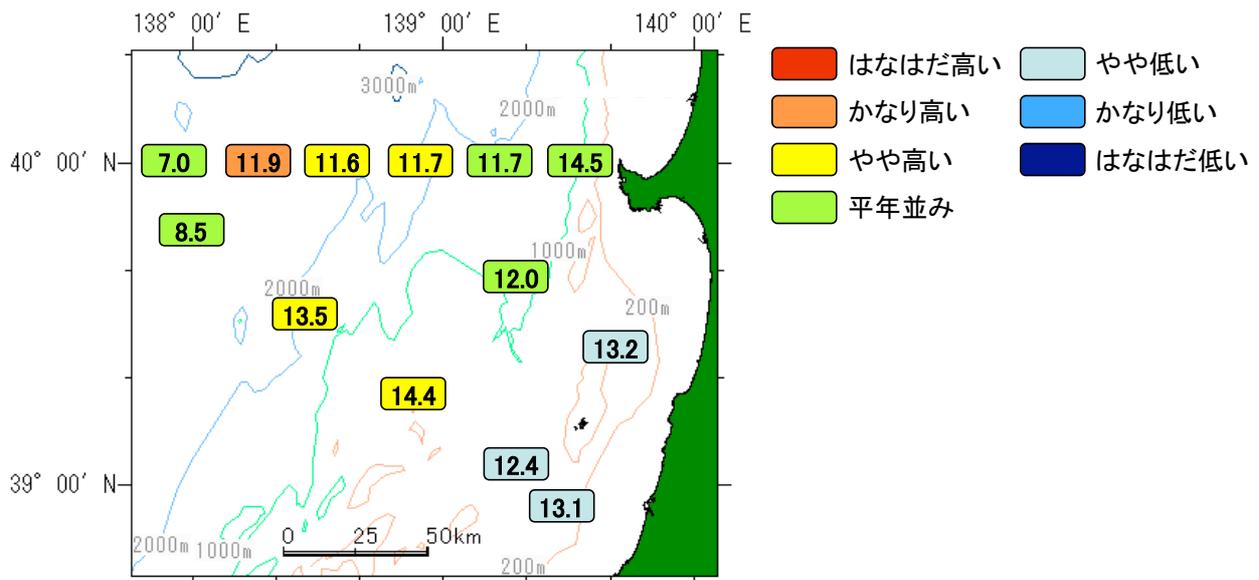


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

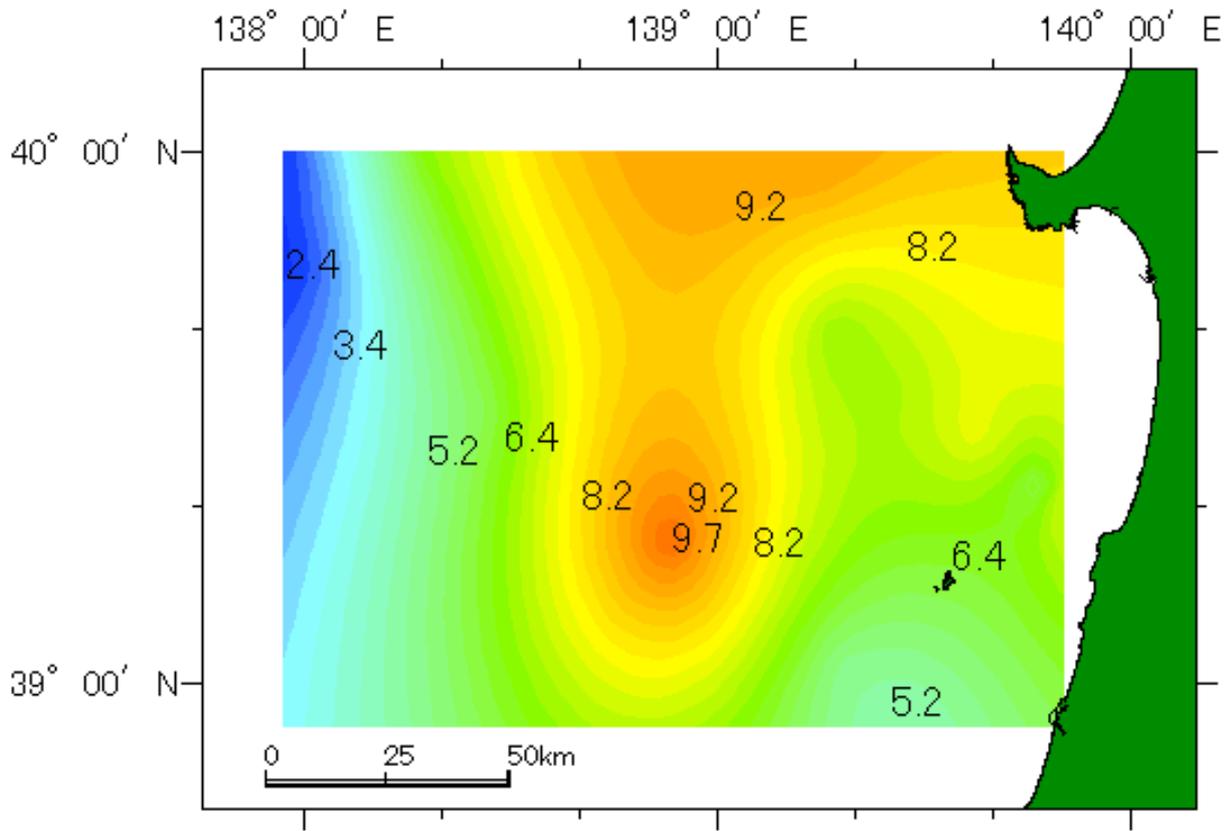


図8 水深200m層の水温分布

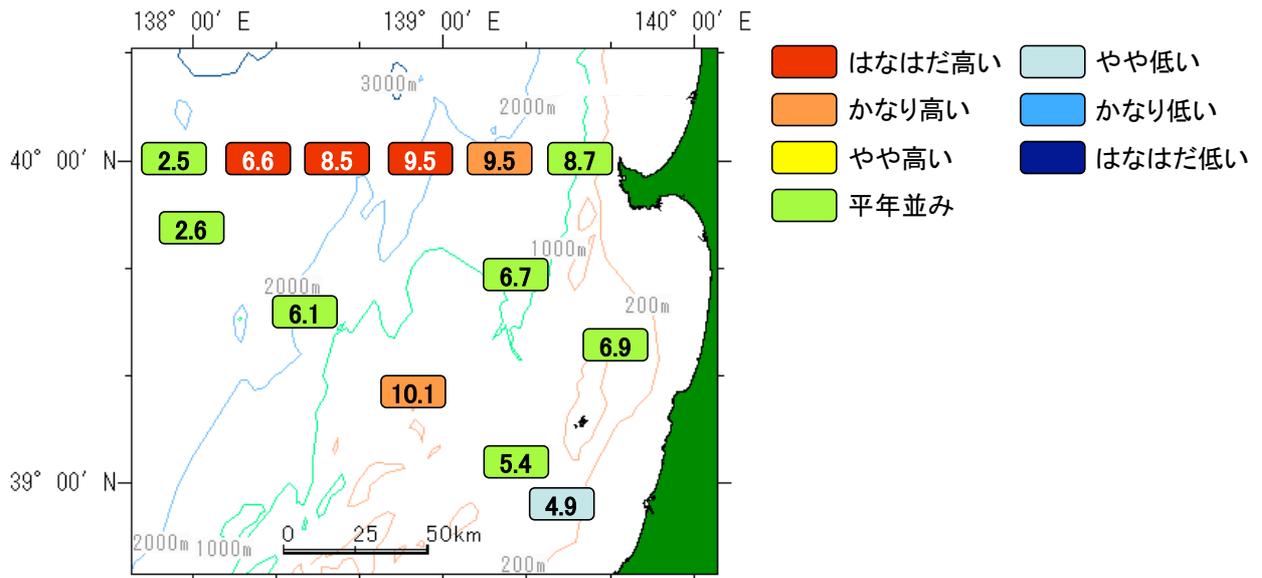


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

秋田県沖合域の水温状況 (平成23年10月)

漁業調査指導船「千秋丸」が10月4日～5日に行った水温の観測結果は、次のとおりです。

- 表層(2ページ) 男鹿半島からにかほ市にかけての沿岸寄りの定点(St. 1及び10～12)で、「かなり低い」水温です。
- 50m層(3ページ) 表層と同じく、沿岸寄りの定点(St. 1及び10～12)で、「かなり低い」水温です。
- 100m層(4ページ) 男鹿半島西方沖(St. 5)で「かなり高い」水温、由利本荘市沖(St. 12)では「かなり低い」水温です。
- 200m層(5ページ) 男鹿半島西方沖(St. 2～4)及びにかほ市沖(St. 10、11)に、「かなり高い」～「はなはだ高い」水温を示す暖水域がみられます。

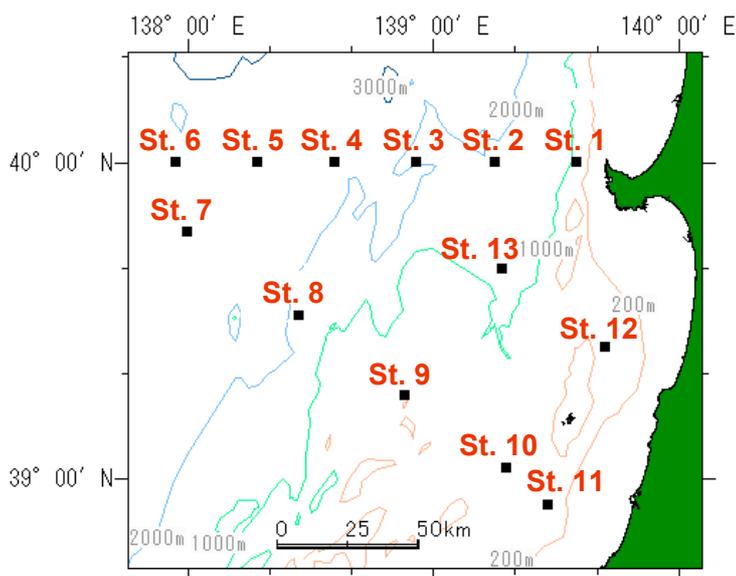


図1 調査船千秋丸による観測定点(St. 1～13)

表1 水温の評価方法

評価	偏差*	
■ はなはだ高い	+200以上	(出現確率:約20年以上に1回)
■ かなり高い	+131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ やや高い	+61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ 平年並み	±60以内	(出現確率:約2年に1回)
■ やや低い	-61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ かなり低い	-131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ はなはだ低い	-200以下	(出現確率:約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)/標準偏差×100
平年値:1971～2000年までの平均値

<表層>

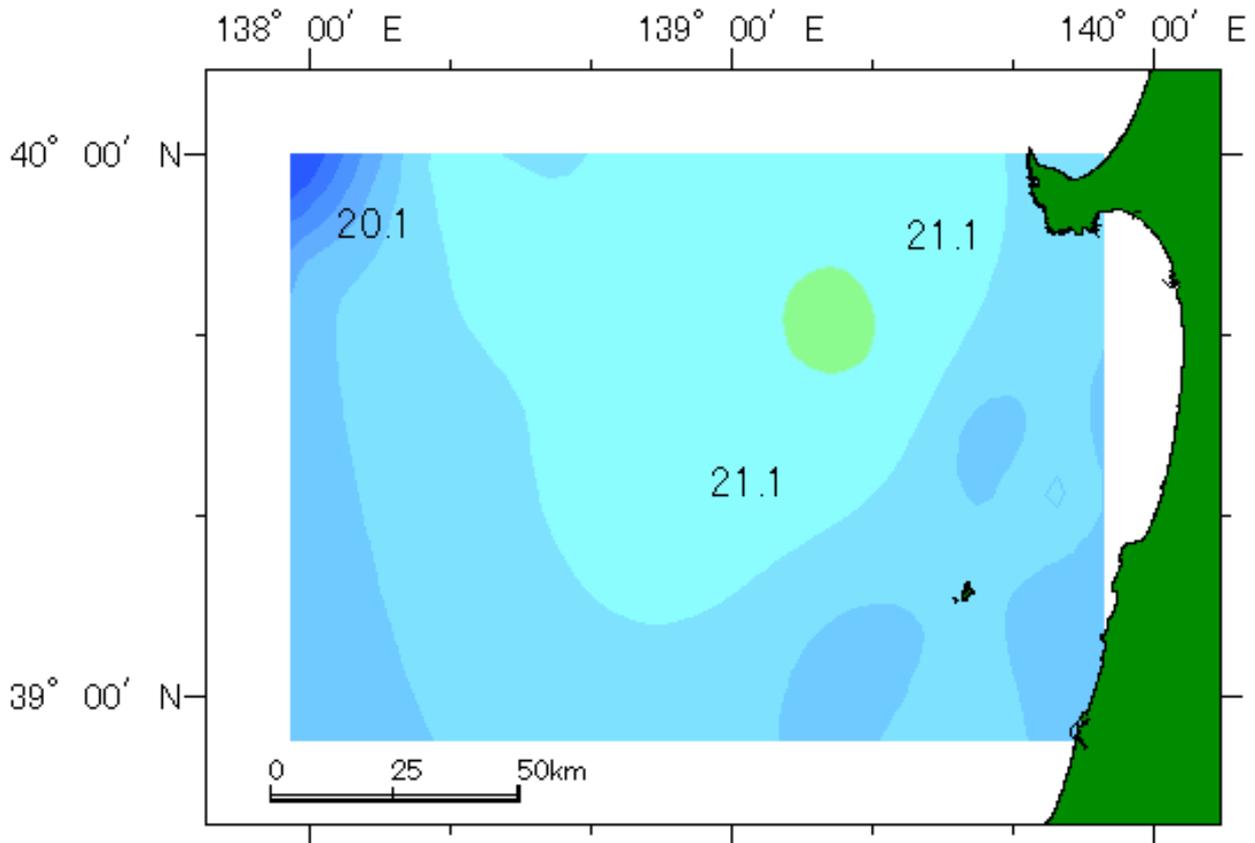


図2 表層の水温分布

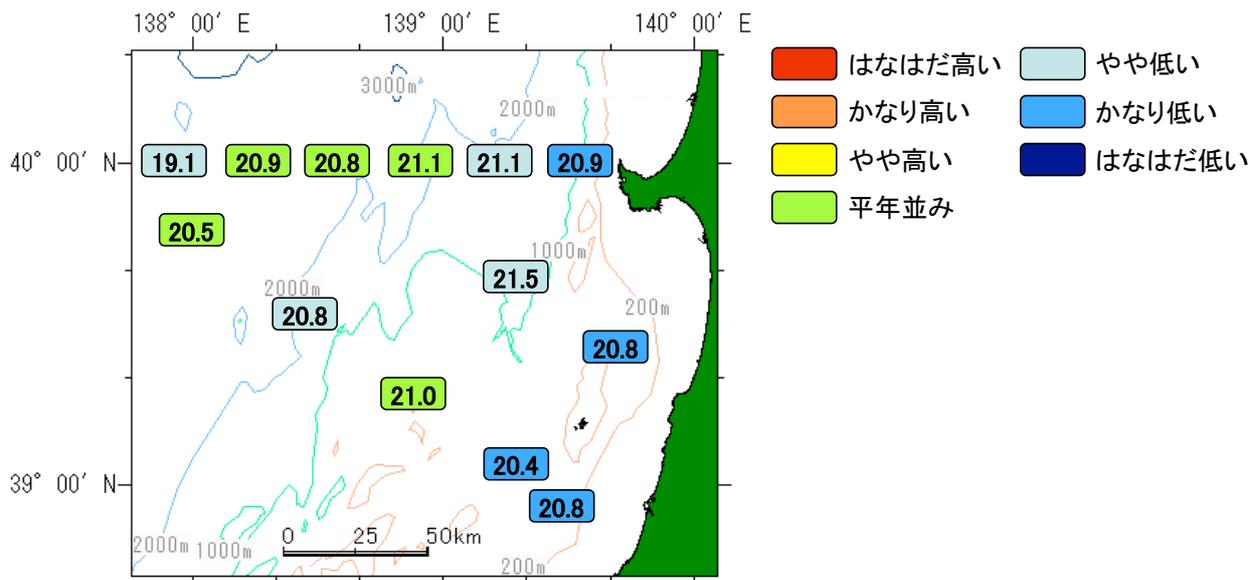


図3 表層における水温の評価と観測値(°C)

<50m層>

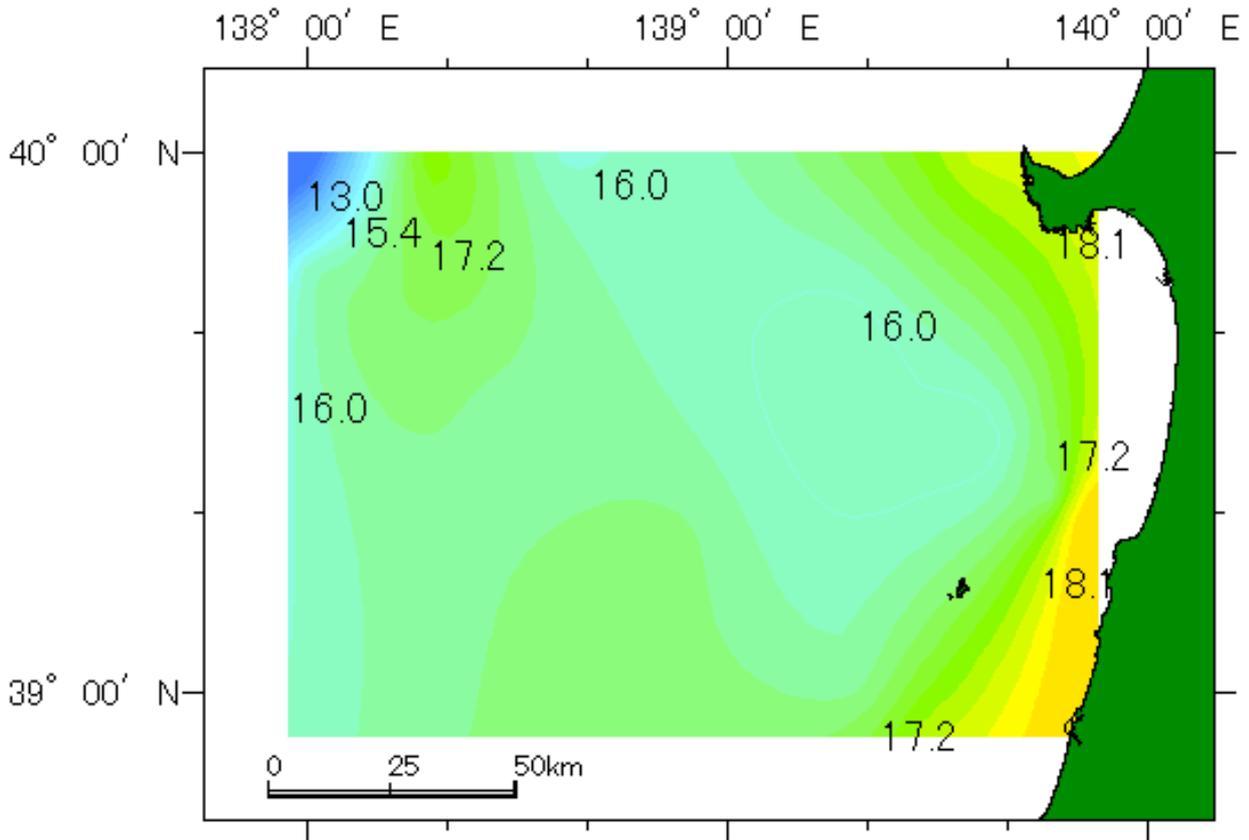


図4 水深50m層の水温分布

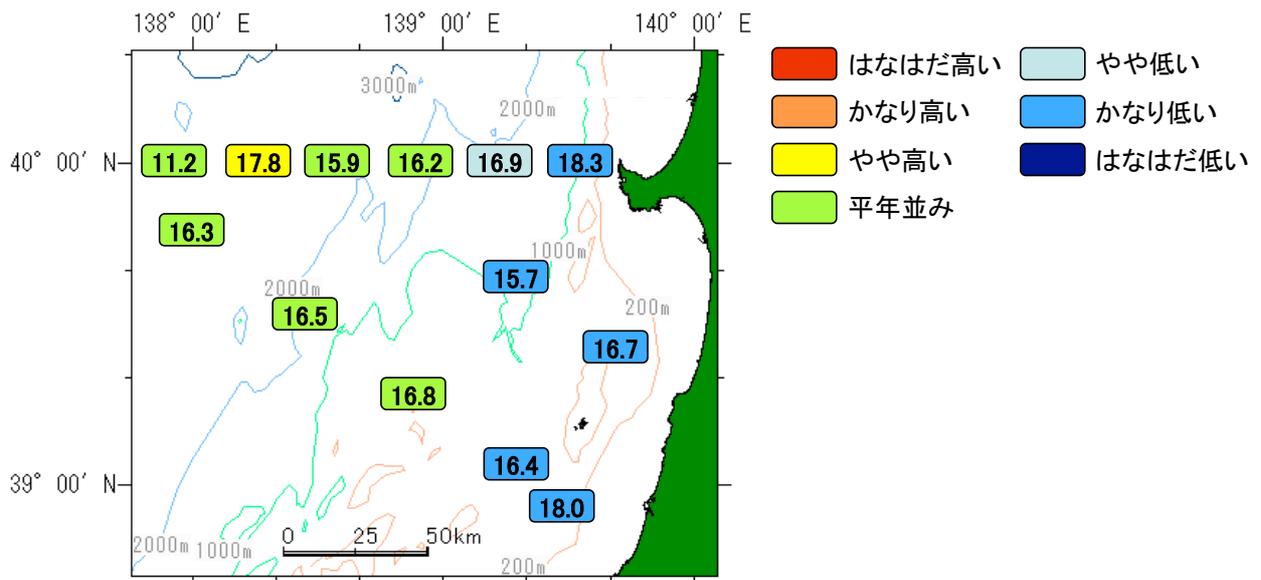


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

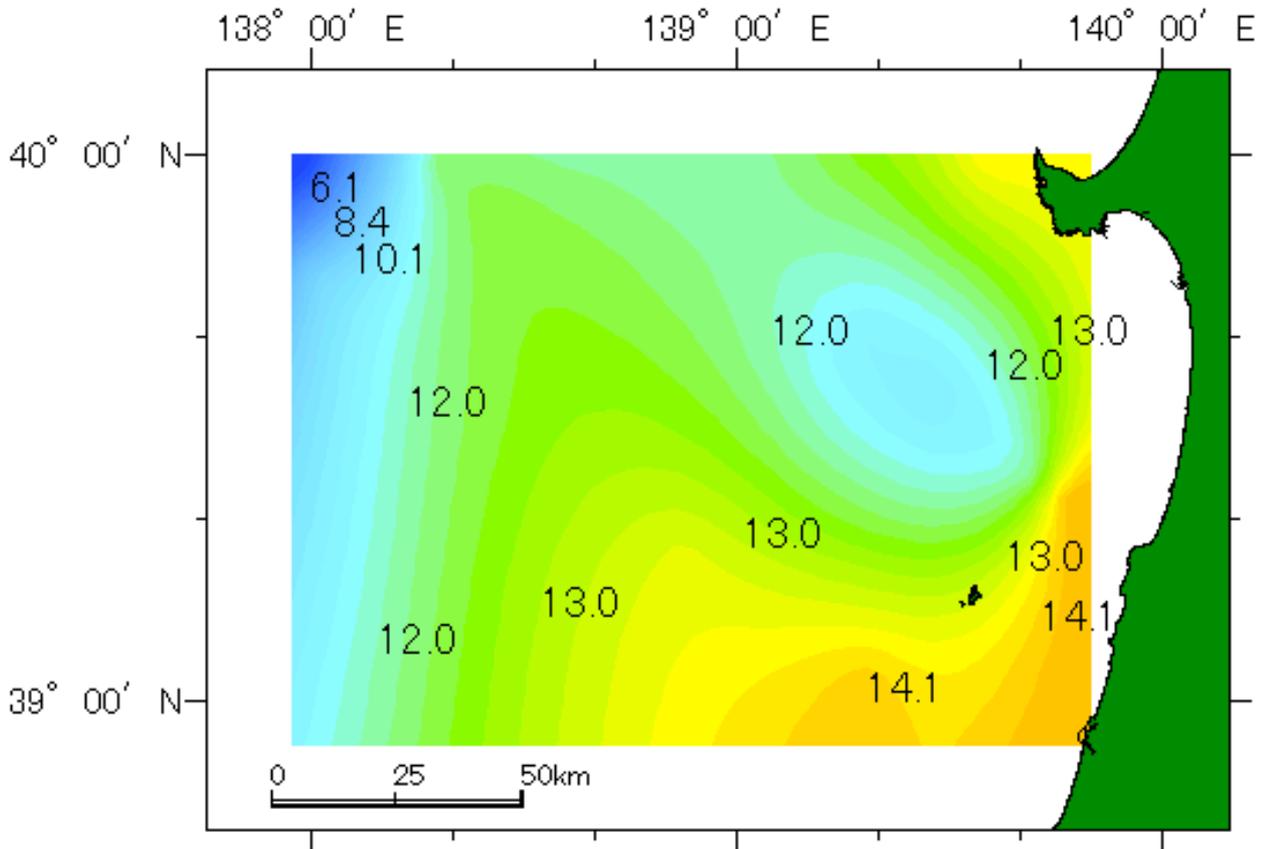


図6 水深100m層の水温分布

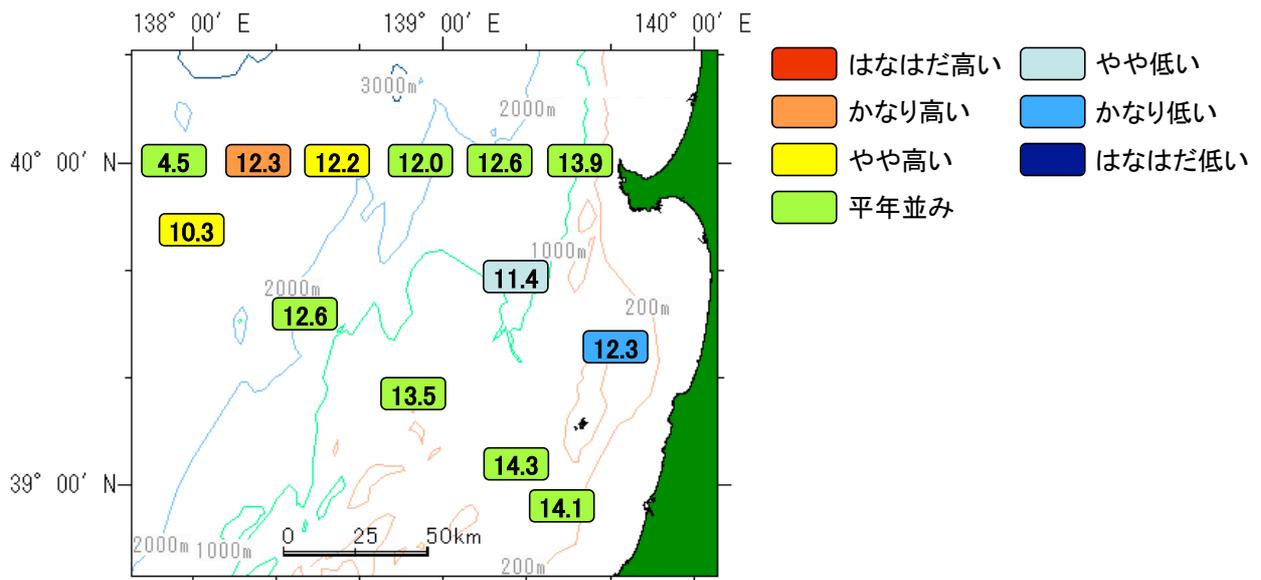


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

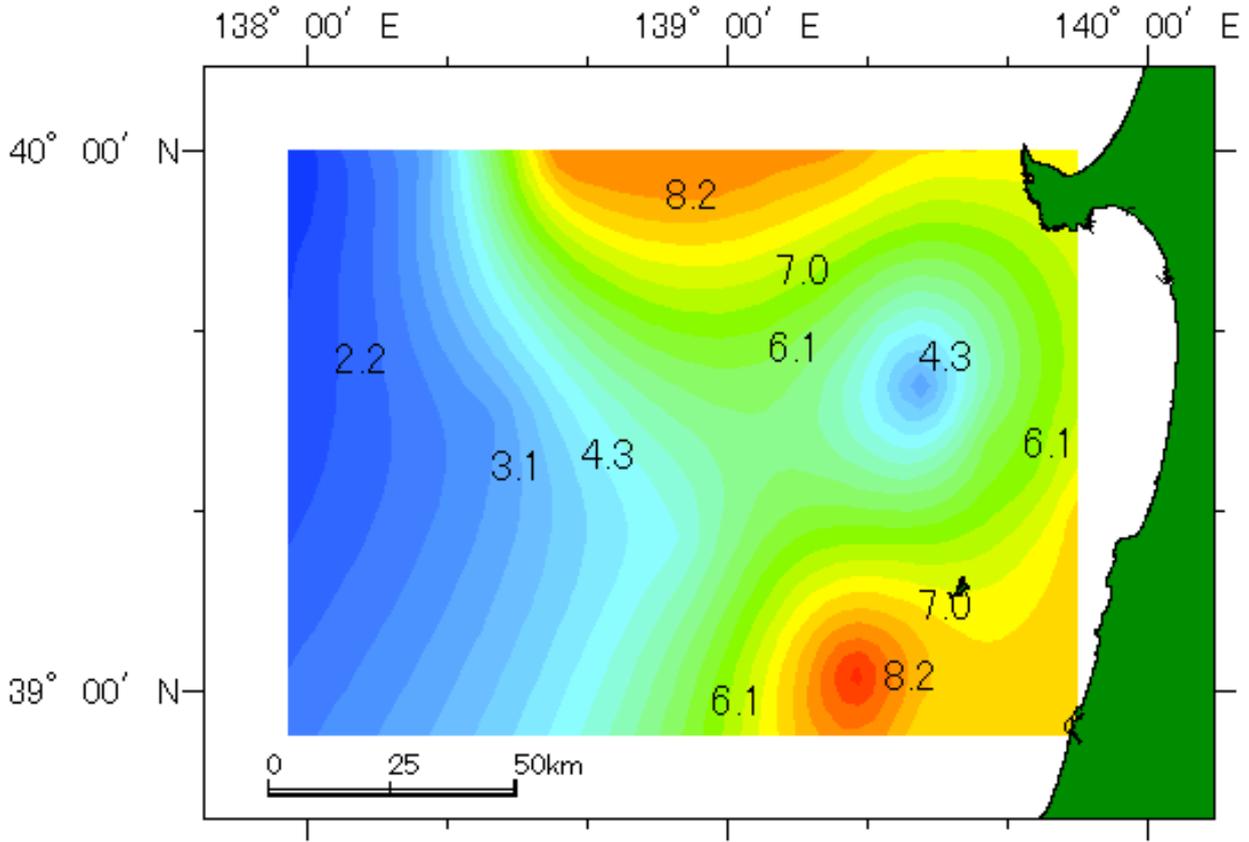


図8 水深200m層の水温分布

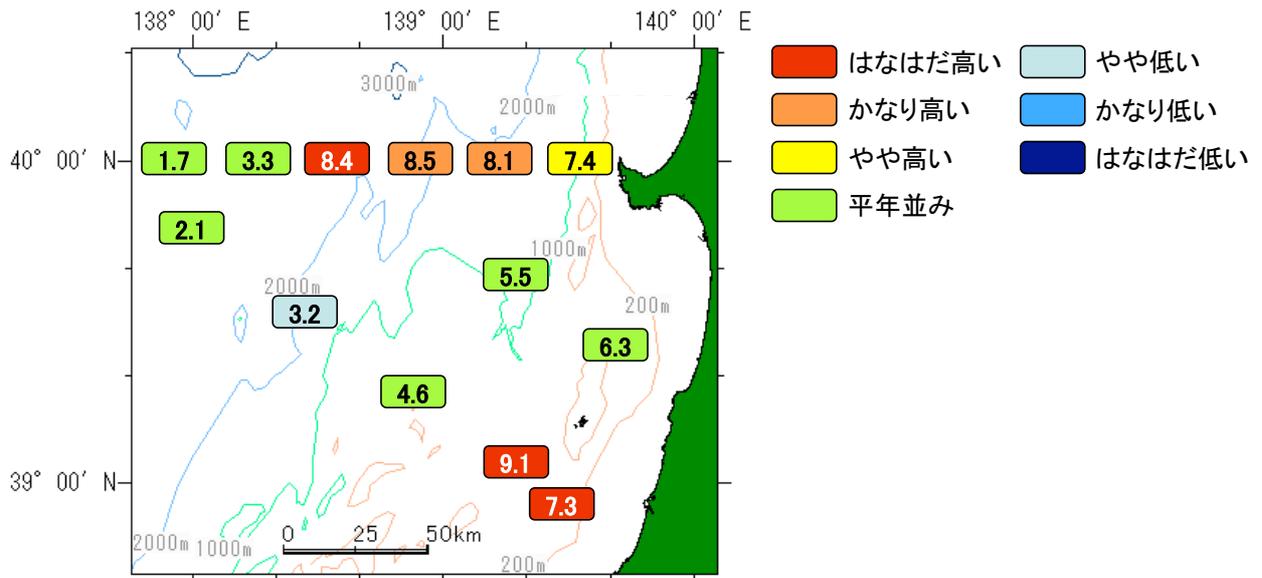


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

秋田県沖合域の水温状況 (平成23年11月)

漁業調査指導船「千秋丸」が10月31日～11月1日に行った水温の観測結果は、次のとおりです。

- 表 層(2ページ) 男鹿半島西方の沿岸から沖合にかけて(St. 1～7)、「やや高い」～「かなり高い」水温です。
- 50 m層(3ページ) 男鹿半島西方沖(St. 1、2)で「やや高い」～「かなり高い」水温です。
- 100m層(4ページ) St. 8付近に「かなり低い」水温の冷水域がみられます。
- 200m層(5ページ) 男鹿半島西方のSt. 2付近に、「やや高い」水温の暖水域がみられます。

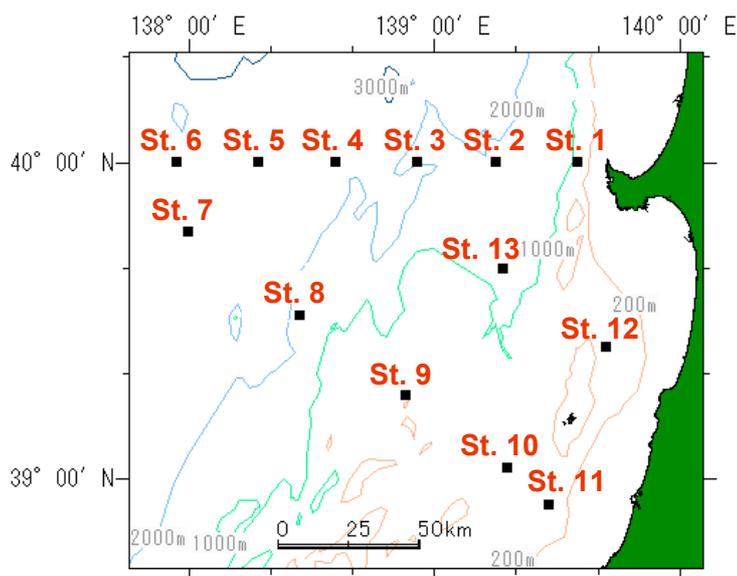


図1 調査船千秋丸による観測定点(St. 1～13)

表1 水温の評価方法

評価	偏差*	
■ はなはだ高い	+200以上	(出現確率:約20年以上に1回)
■ かなり高い	+131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ やや高い	+61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ 平年並み	±60以内	(出現確率:約2年に1回)
■ やや低い	-61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ かなり低い	-131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ はなはだ低い	-200以下	(出現確率:約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)/標準偏差×100
平年値:1971～2000年までの平均値

<表層>

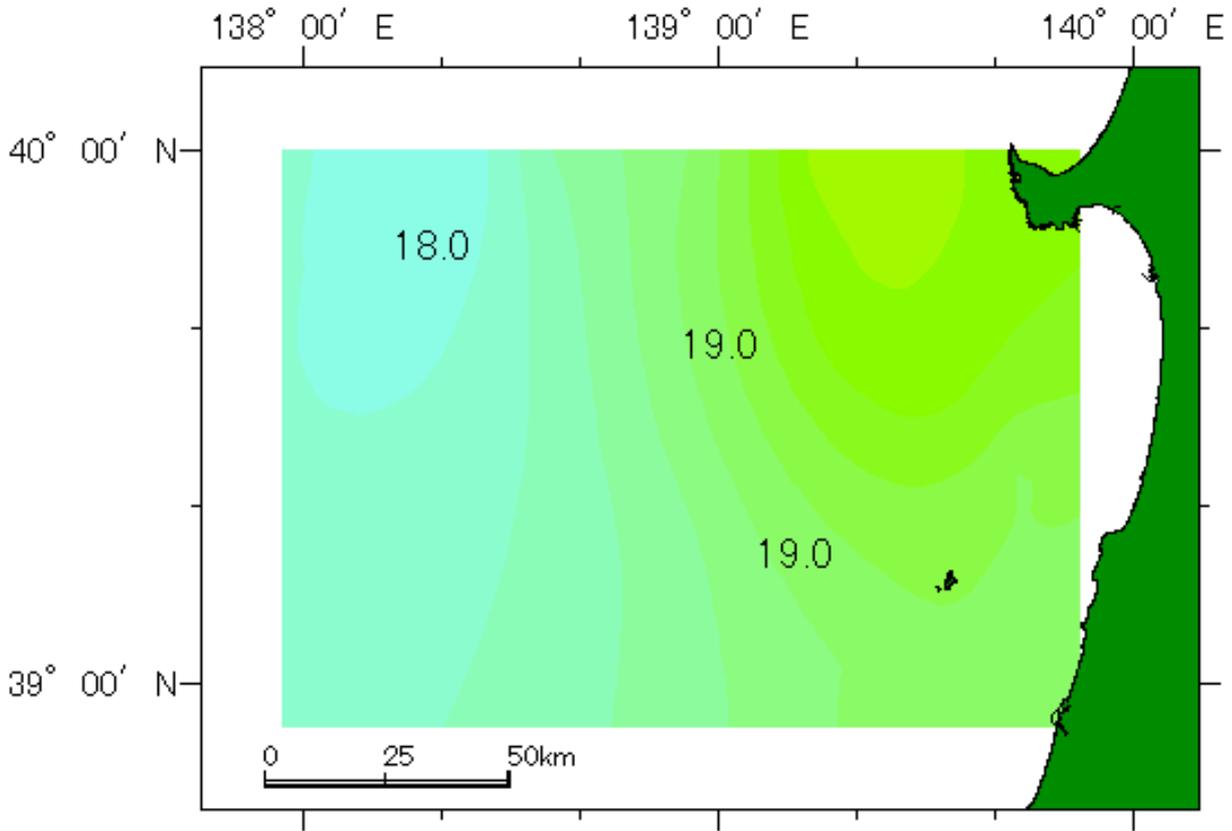


図2 表層の水温分布

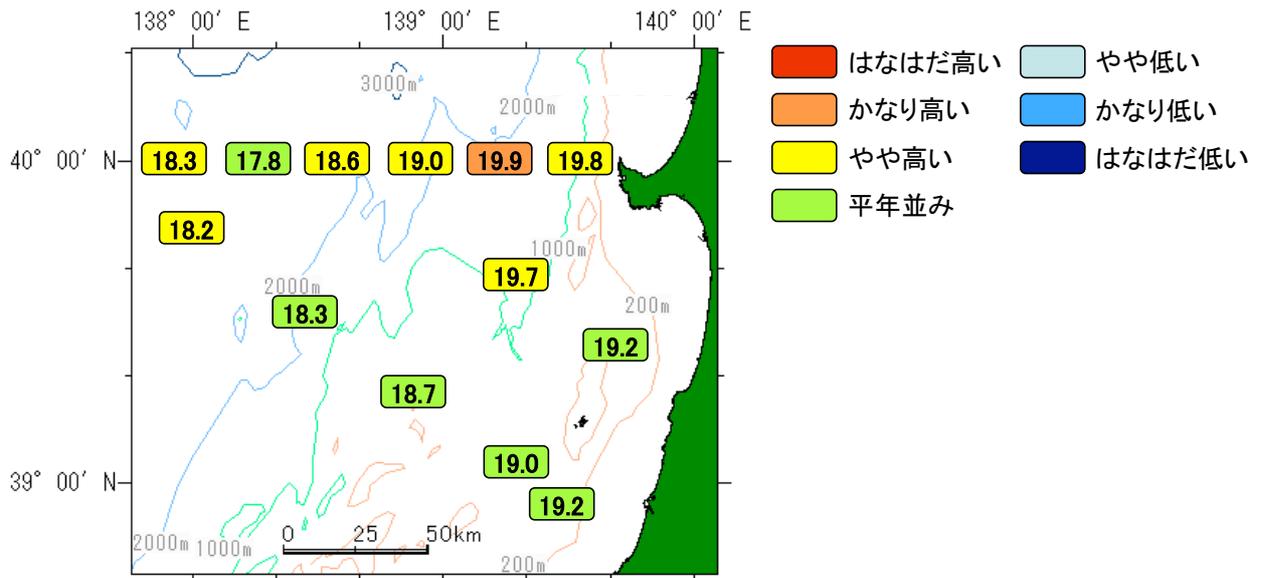


図3 表層における水温の評価と観測値(°C)

<50m層>

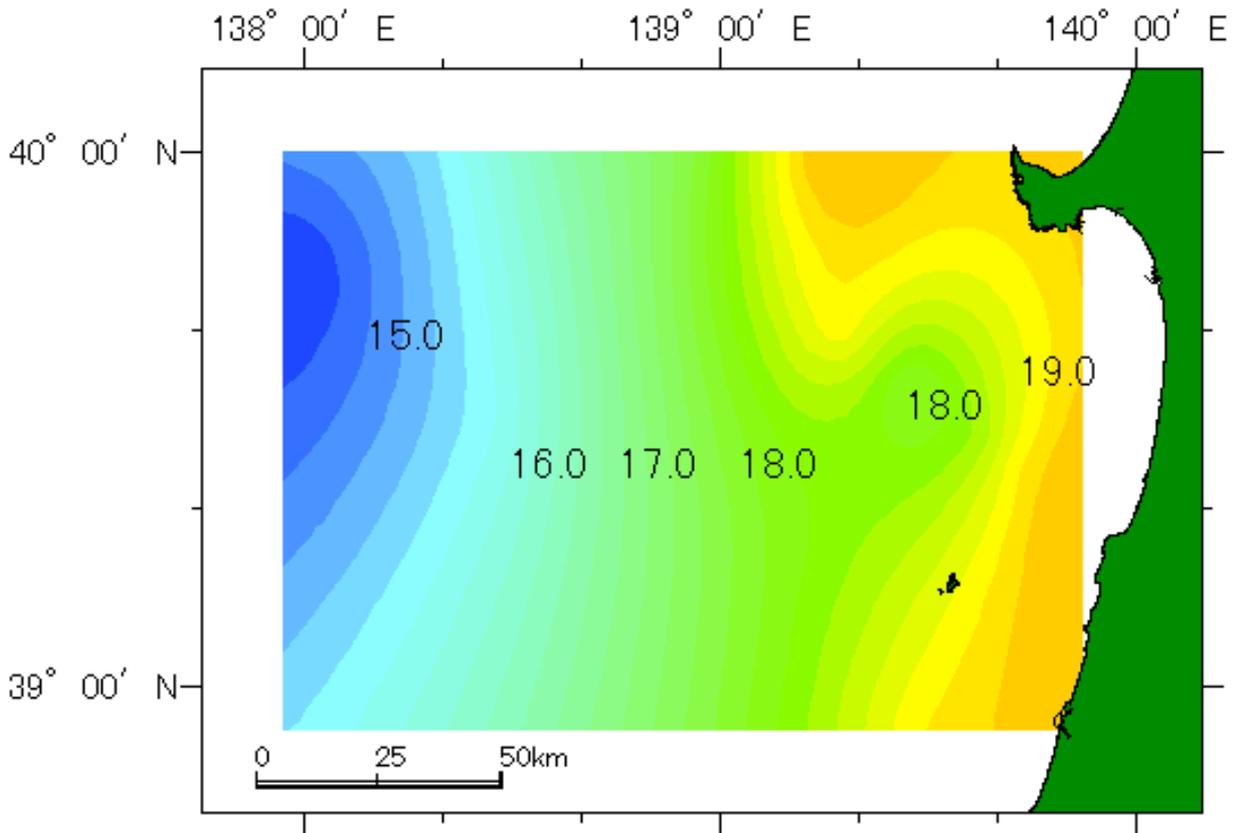


図4 水深50m層の水温分布

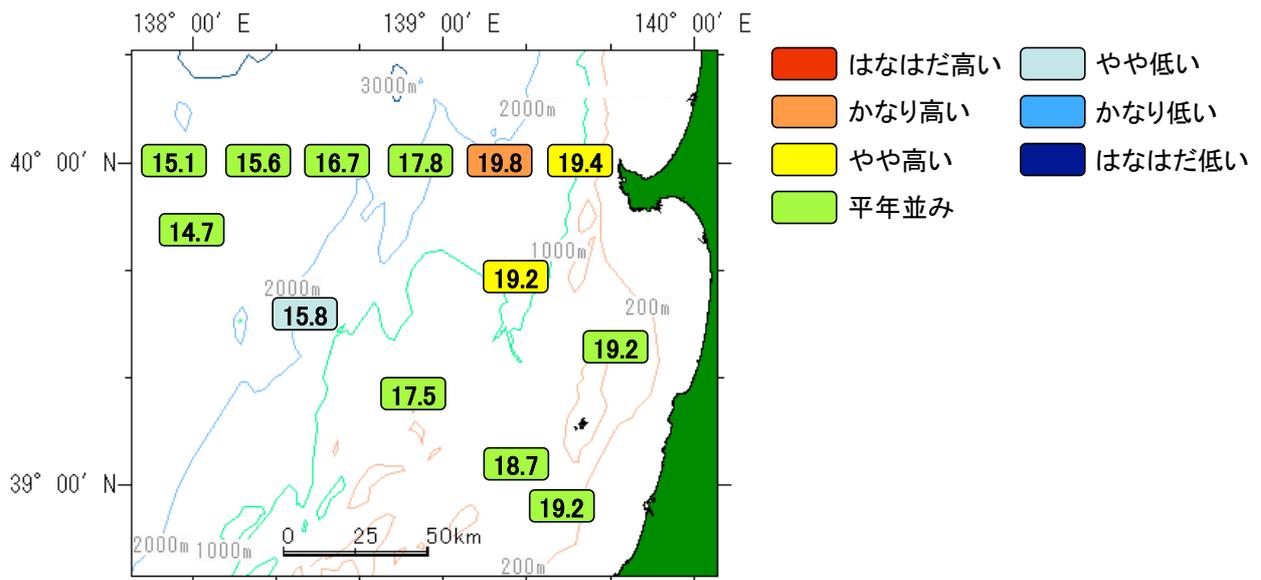


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

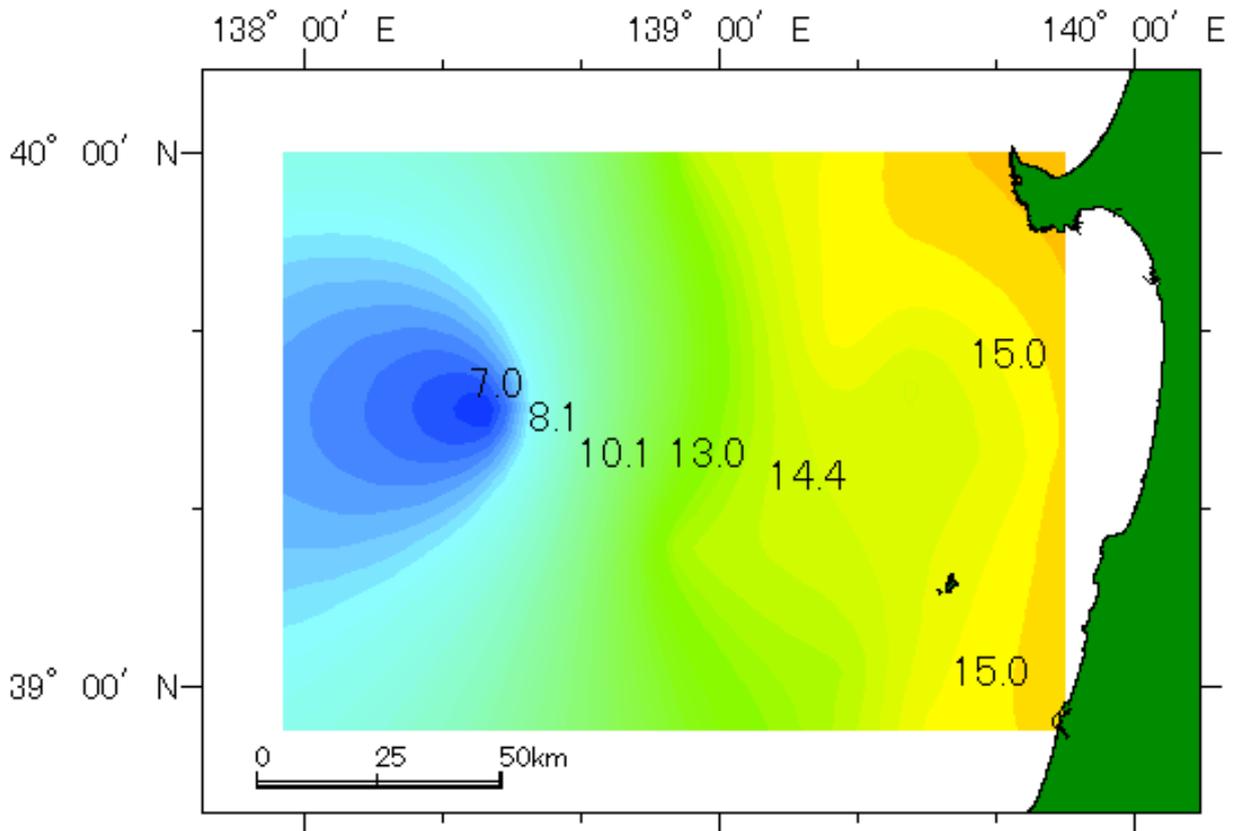


図6 水深100m層の水温分布

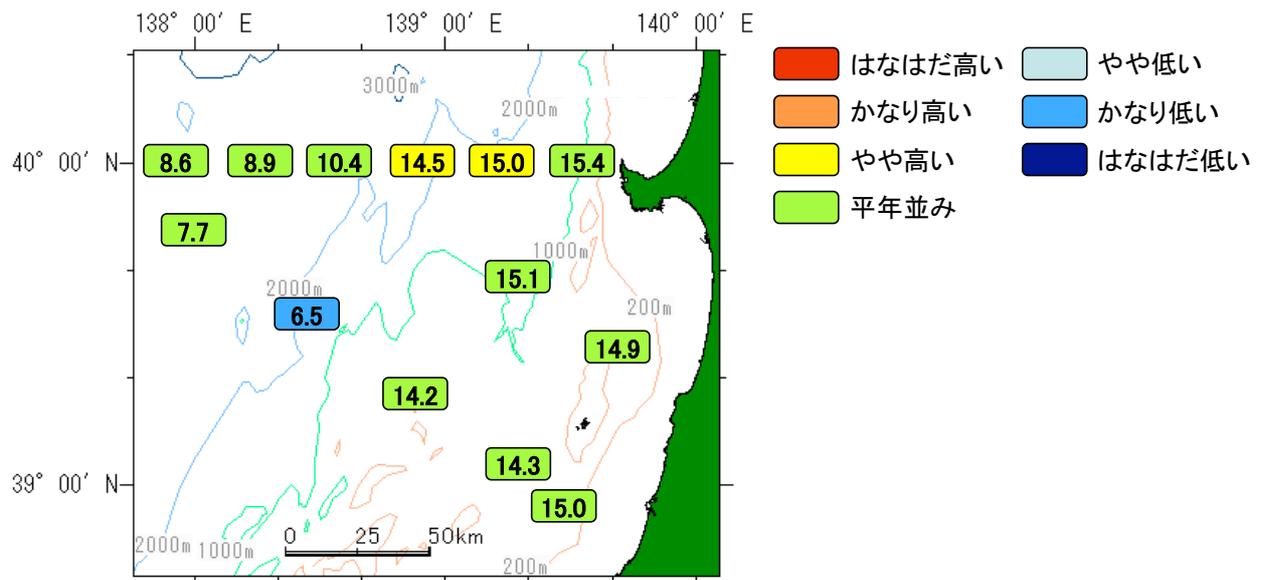


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

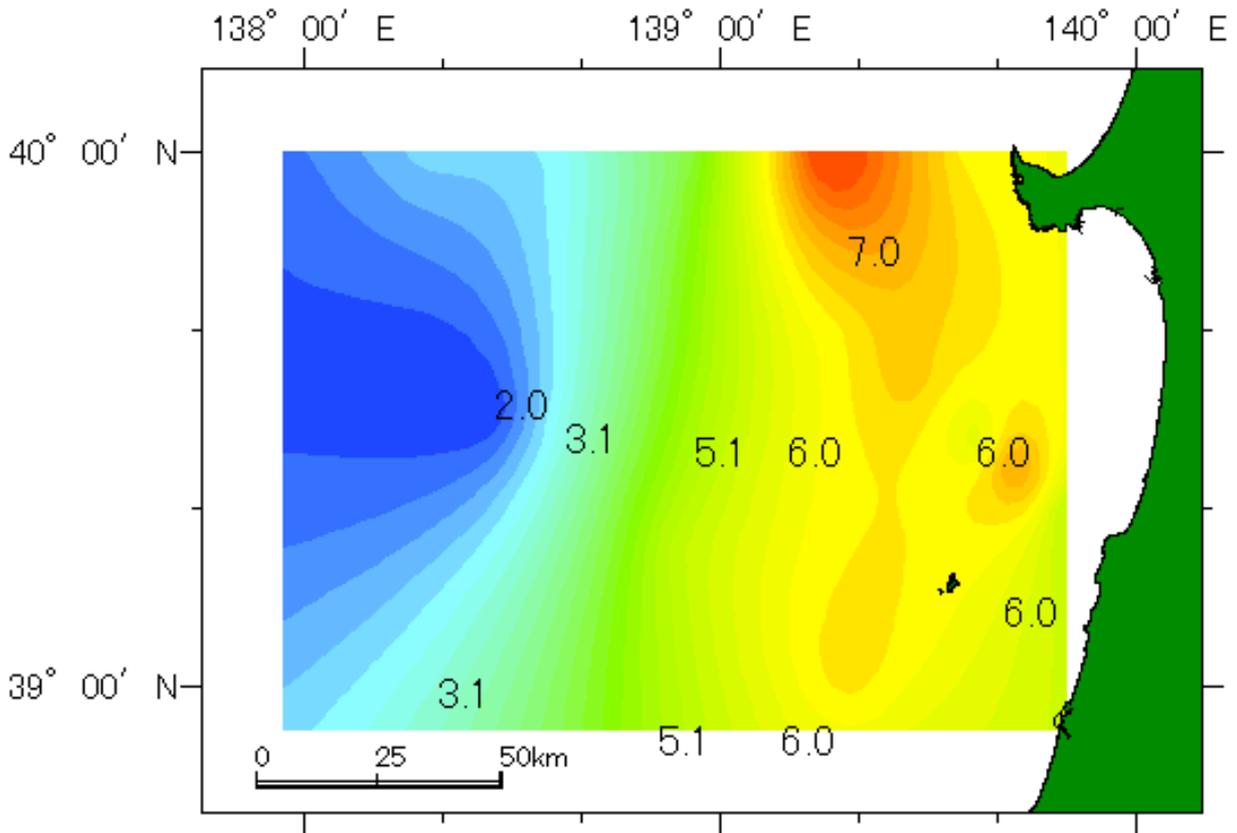


図8 水深200m層の水温分布

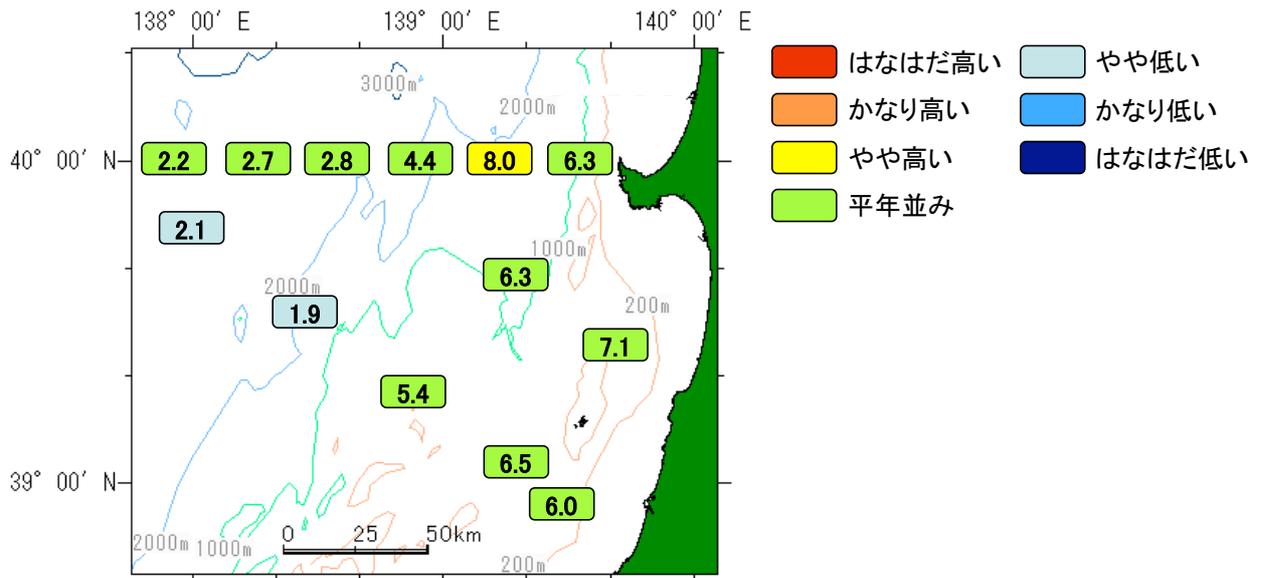


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

秋田県沖合域の水溫状況 (平成24年2月)

漁業調査指導船「千秋丸」により2月13日～14日に行った水溫の観測結果は、次のとおりです。

- 表層(2ページ) 全体的に「やや低い」～「平年並み」の水溫となっています。
- 50m層(3ページ) 秋田市沖のSt. 13で、局所的に「はなはだ低い」水溫の冷水域がみられます。
- 100m層(4ページ) 50m層と同様、秋田市沖のSt. 13で「はなはだ低い」水溫となっています。
- 200m層(5ページ) にかほ市以南のSt. 11で、「かなり高い」水溫となっています。

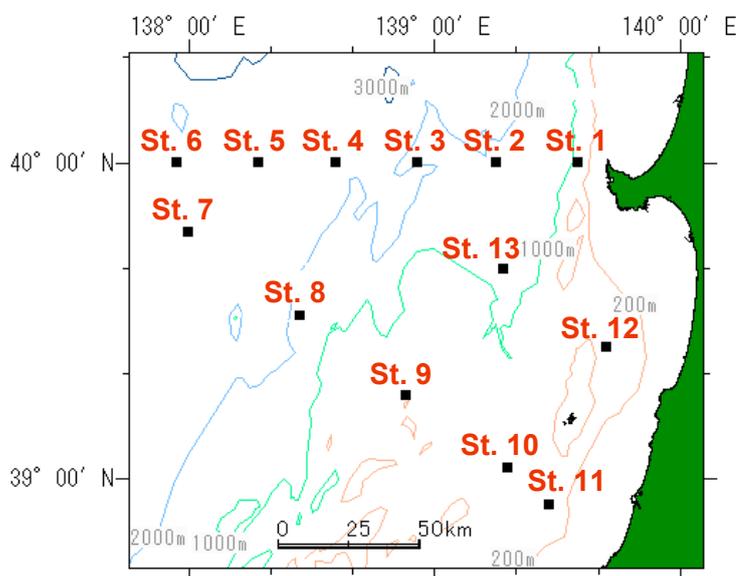


図1 調査船千秋丸による観測定点(St. 1～13)

表1 水溫の評価方法

評価	偏差*	
■ はなはだ高い	+200以上	(出現確率:約20年以上に1回)
■ かなり高い	+131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ やや高い	+61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ 平年並み	±60以内	(出現確率:約2年に1回)
■ やや低い	-61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ かなり低い	-131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ はなはだ低い	-200以下	(出現確率:約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)/標準偏差×100
平年値:1971～2000年までの平均値

<表層>

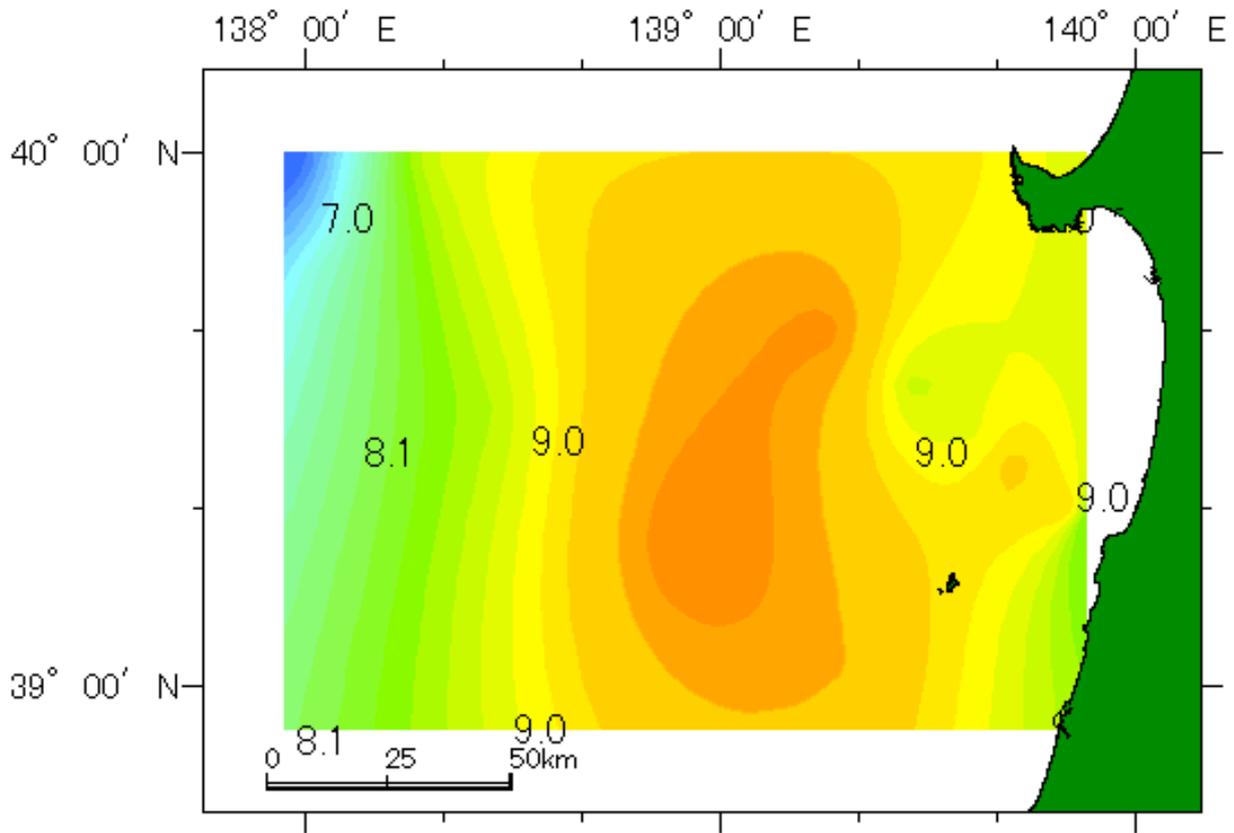


図2 表層の水温分布

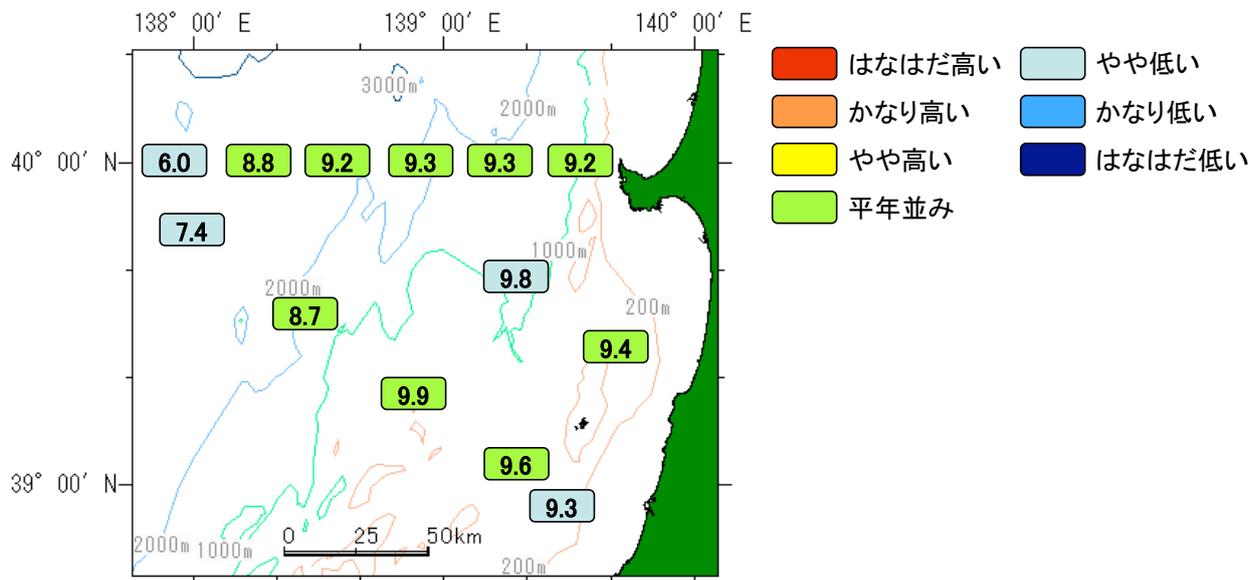


図3 表層における水温の評価と観測値(°C)

<50m層>

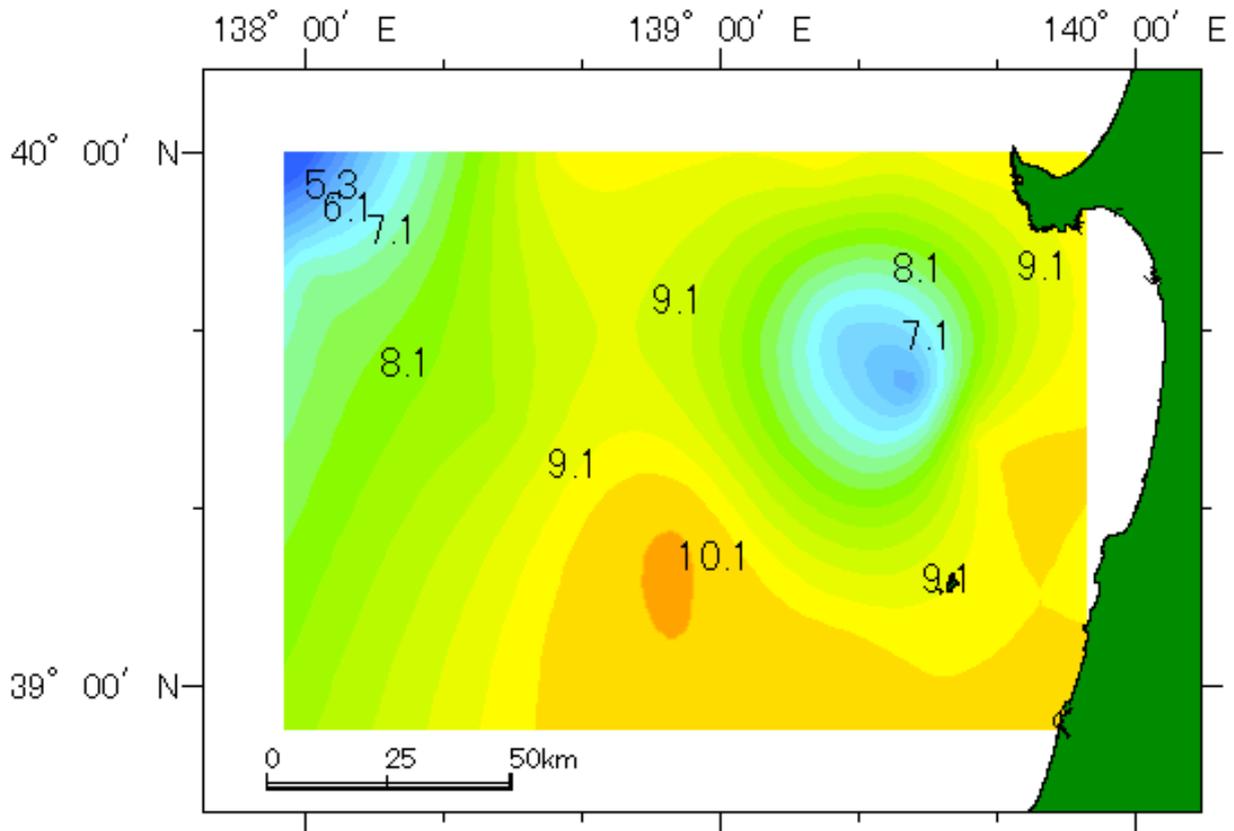


図4 水深50m層の水温分布

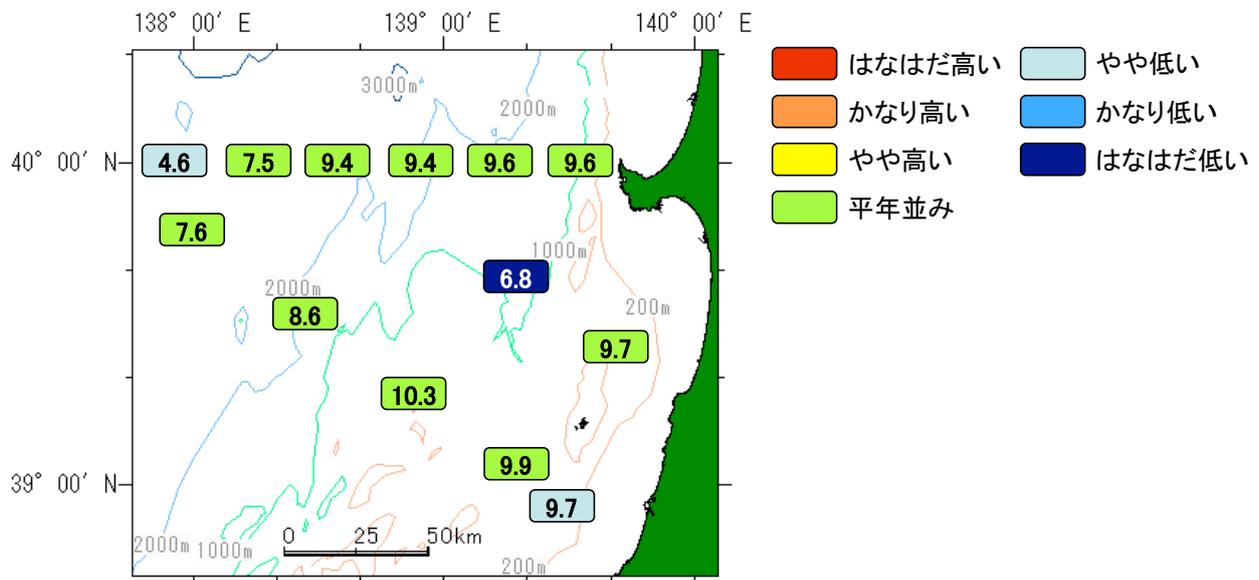


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

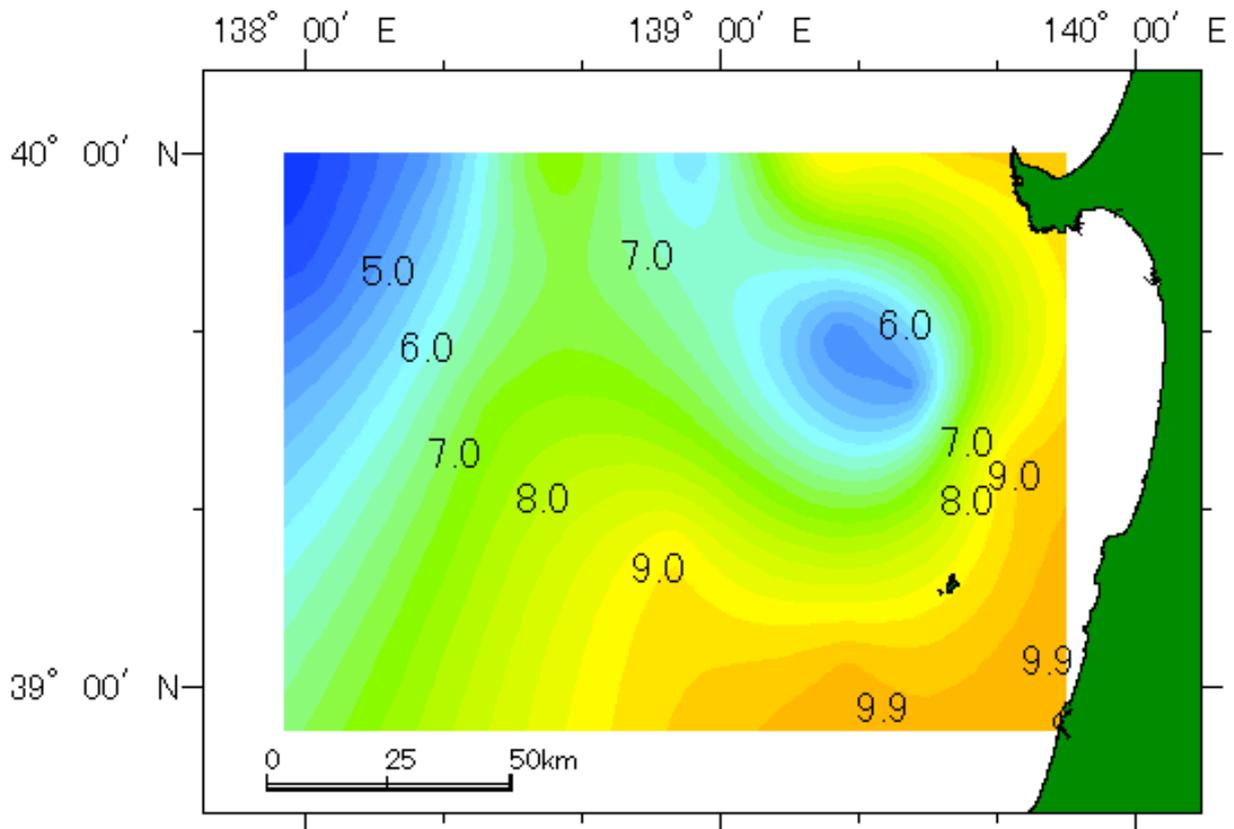


図6 水深100m層の水温分布

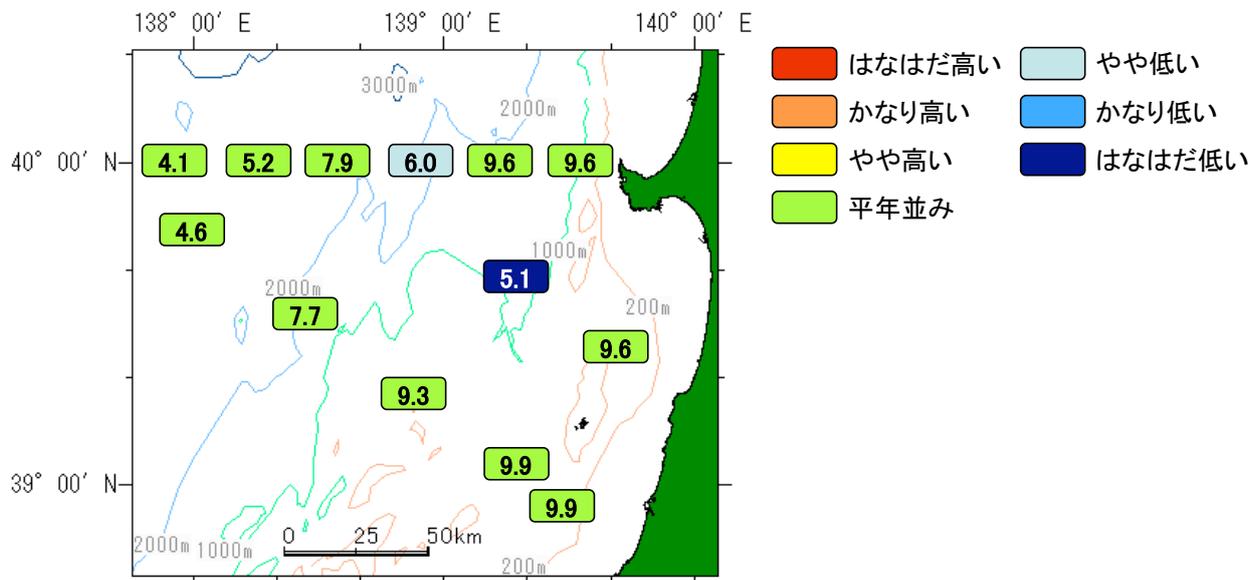


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

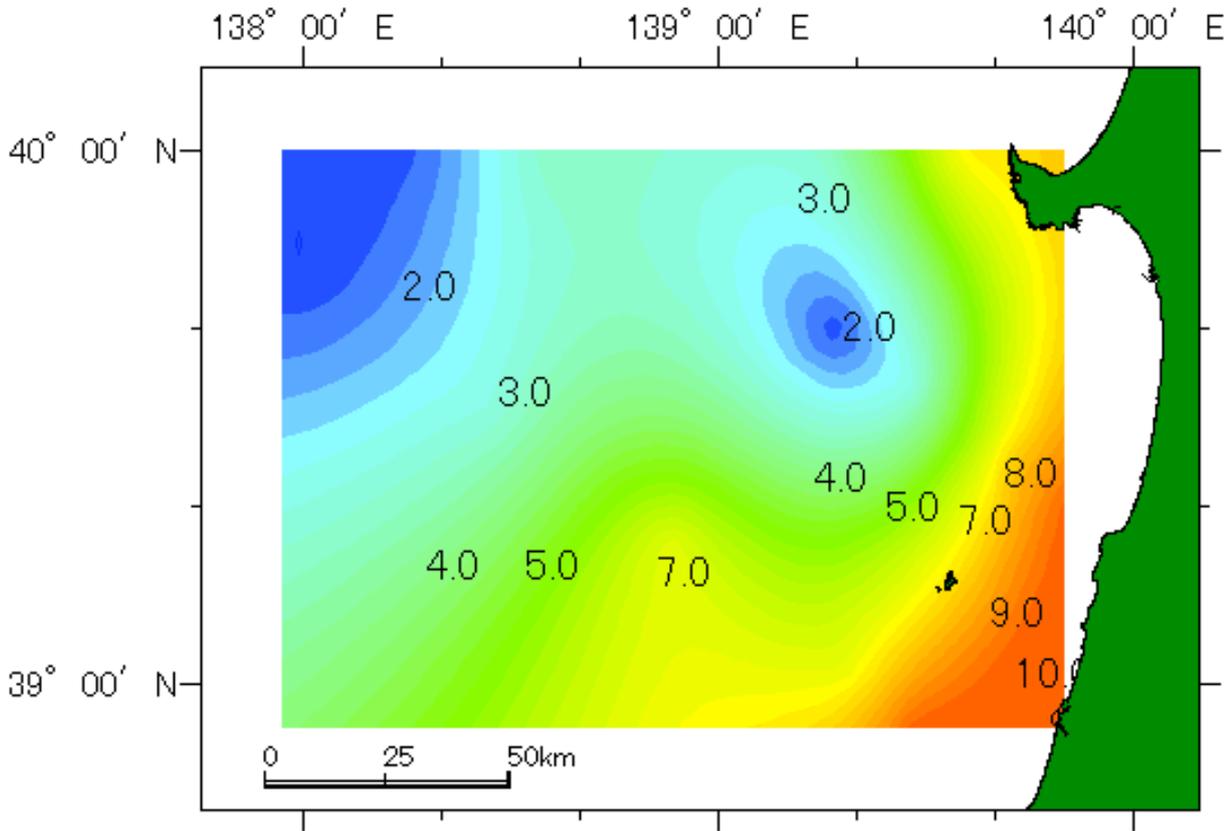


図8 水深200m層の水温分布

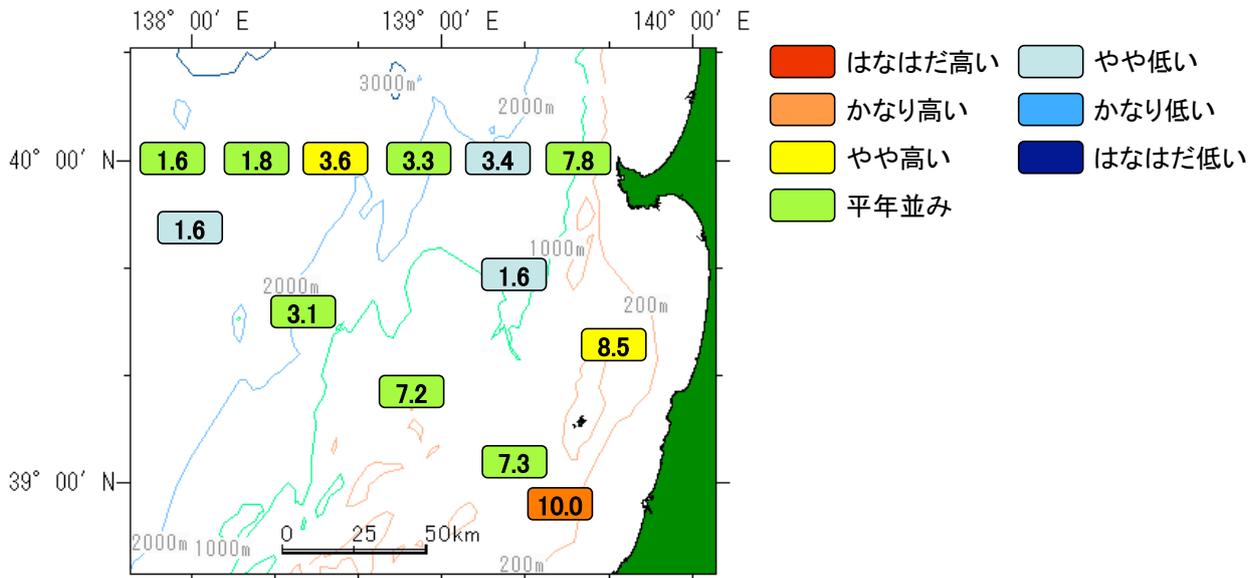


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

秋田県沖合域の水溫状況 (平成24年3月)

漁業調査指導船「千秋丸」と沿岸調査船「第二千秋丸」が2月28日～3月1日に行った水温の観測結果は、次のとおりです。

- 表層(2ページ) 全体的に「やや低い」～「平年並み」の水温となっています。
- 50m層(3ページ) 男鹿半島西方沖(St. 6)に冷水域がみられます。
- 100m層(4ページ) 男鹿半島西方沖(St. 5～6)に冷水域がみられます。また、能代市沖のSt. 23では、「かなり低い」水温となっています。
- 200m層(5ページ) 男鹿半島西方沖のSt. 3～7にかけて、冷水域が広く分布しています。

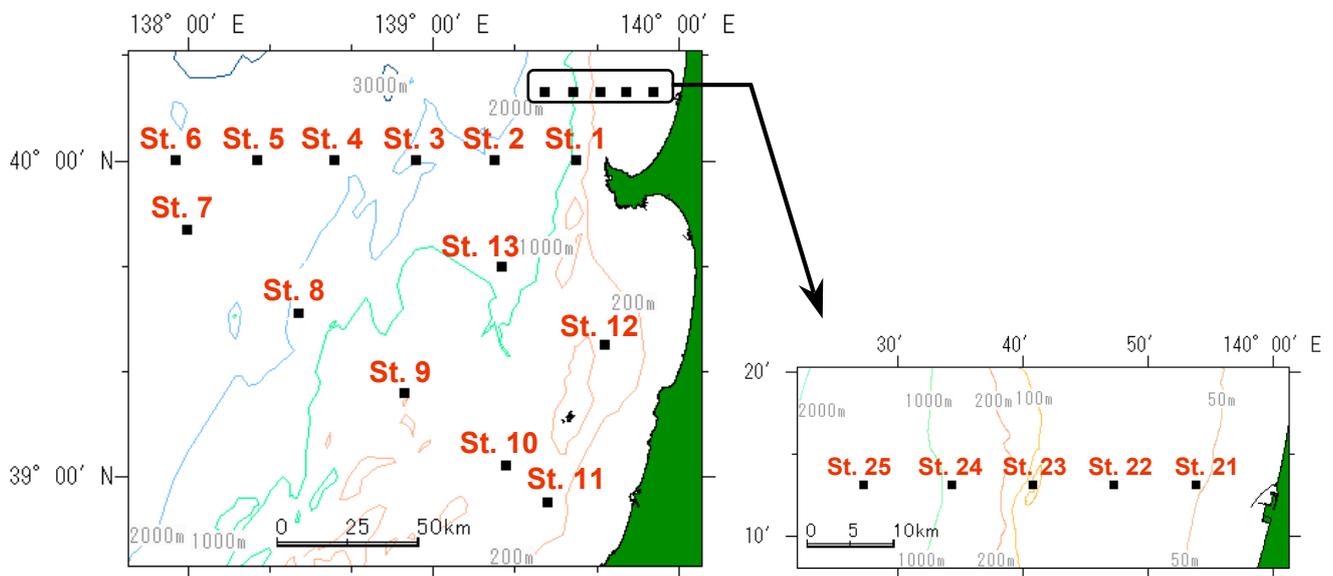


図1 調査船千秋丸及び第二千秋丸による観測定点(St. 1～13; 千秋丸、21～25; 第二千秋丸)

表1 水温の評価方法

評価	偏差*	
 はなはだ高い	+200以上	(出現確率約20年以上に1回)
 かなり高い	+131～200	(出現確率約10年に1回)
 やや高い	+61～131	(出現確率約4年に1回)
 平年並み	±60以内	(出現確率約2年に1回)
 やや低い	-61～131	(出現確率約4年に1回)
 かなり低い	-131～200	(出現確率約10年に1回)
 はなはだ低い	-200以下	(出現確率約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)/標準偏差×100
平年値; St. 1～13は1971～2000年まで、21～25は1978～2000年までの平均値

<表層>

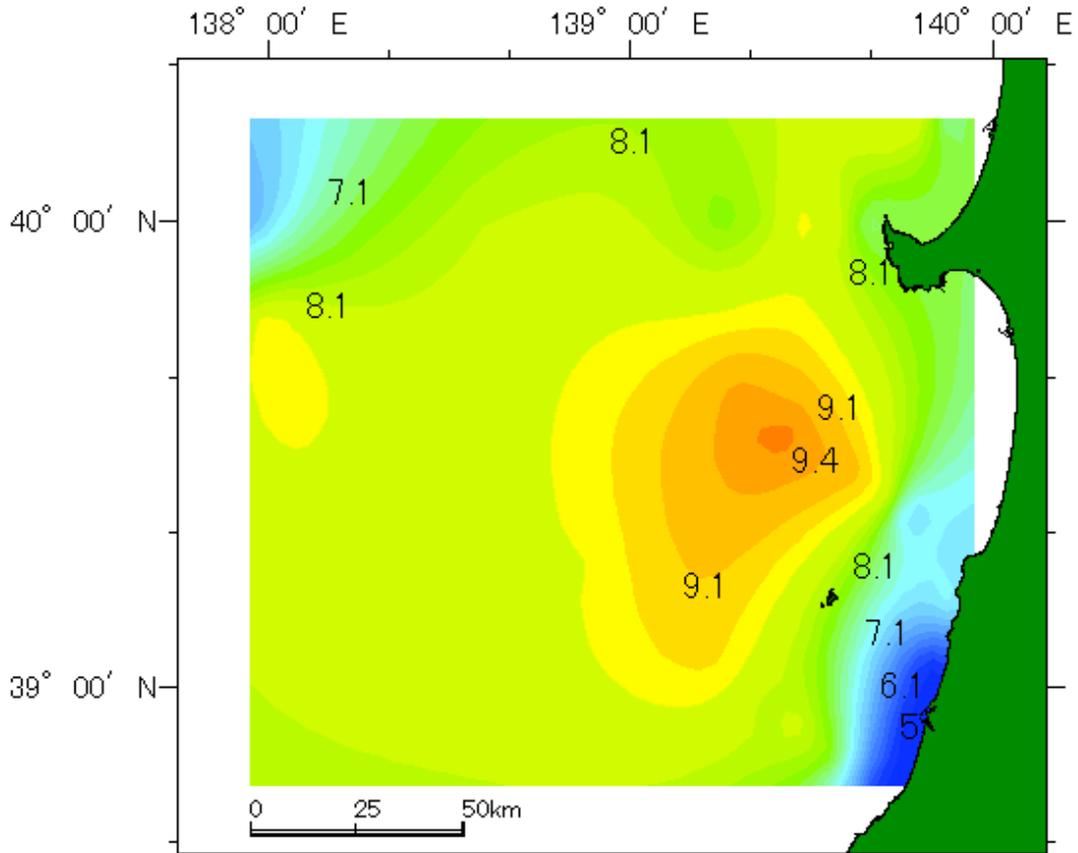


図2 表層の水温分布

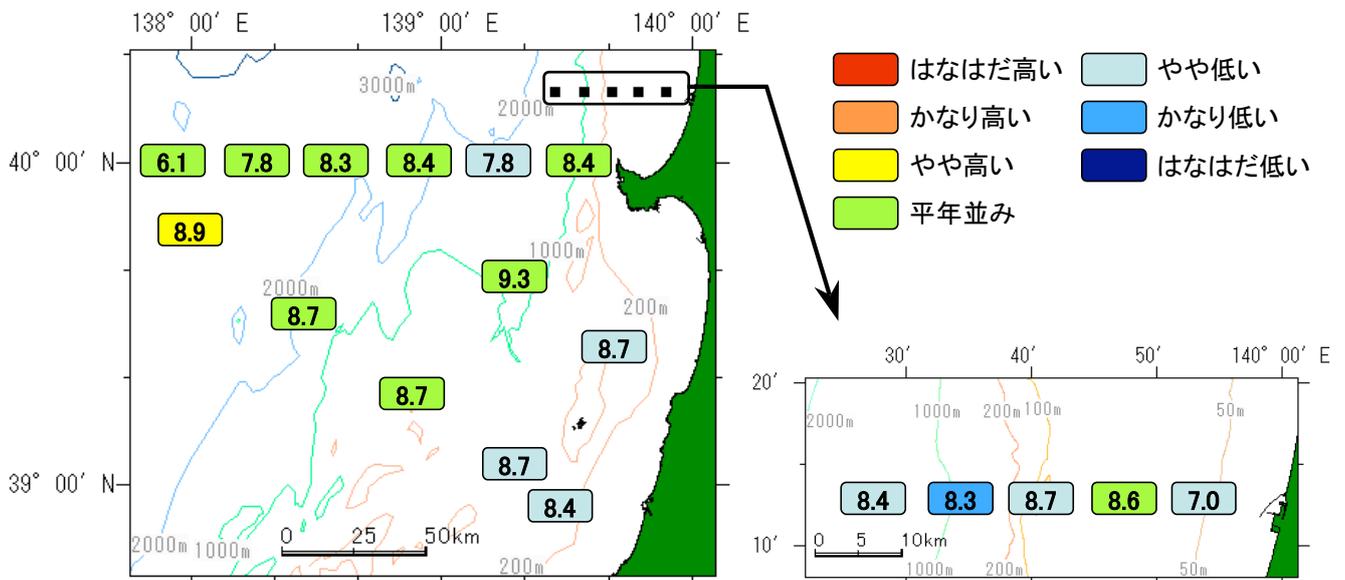


図3 表層における水温度の評価と観測値(°C)

<50m層>

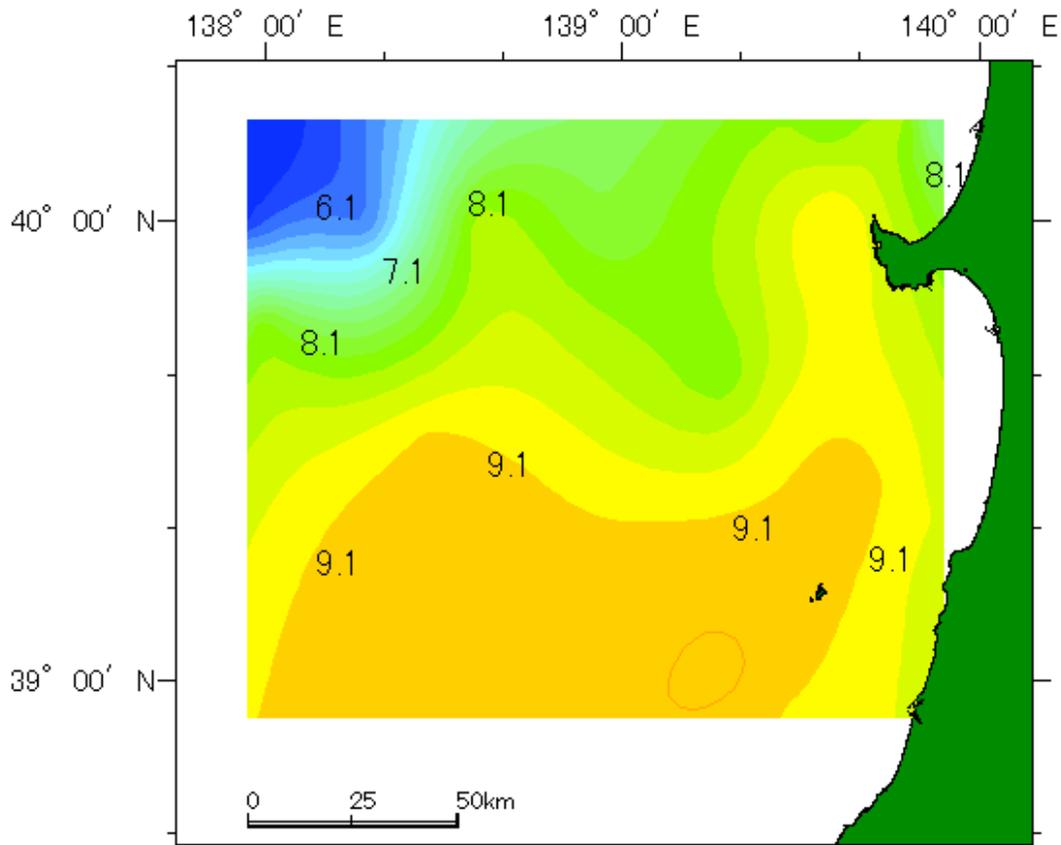


図4 水深50m層の水温分布

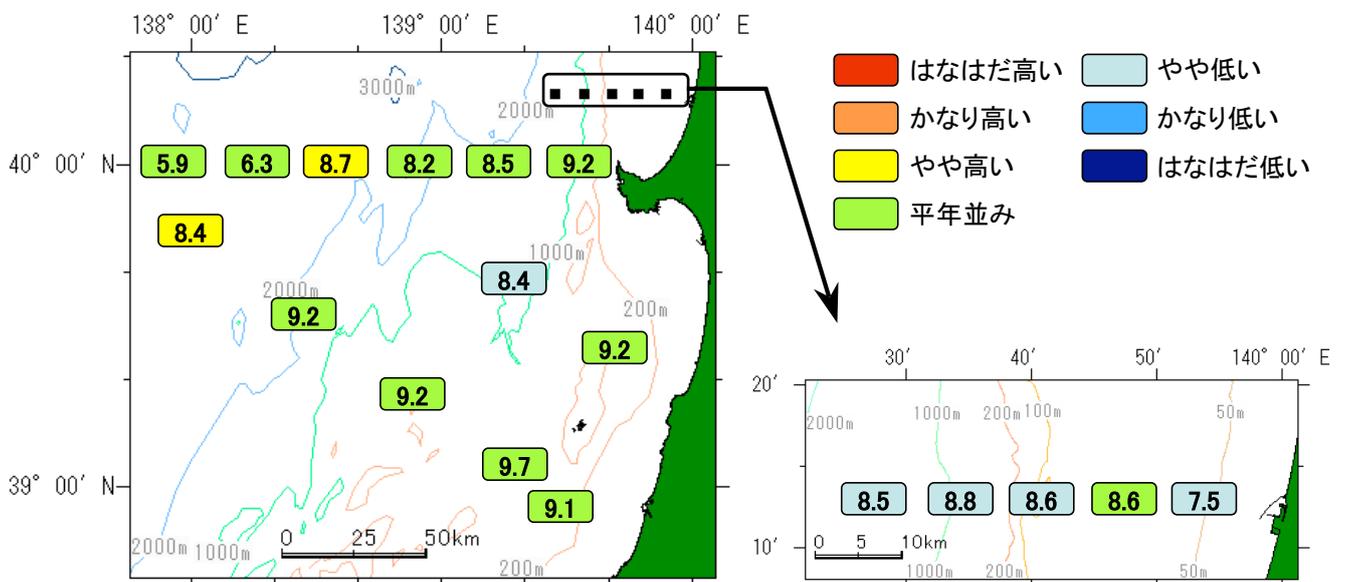


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

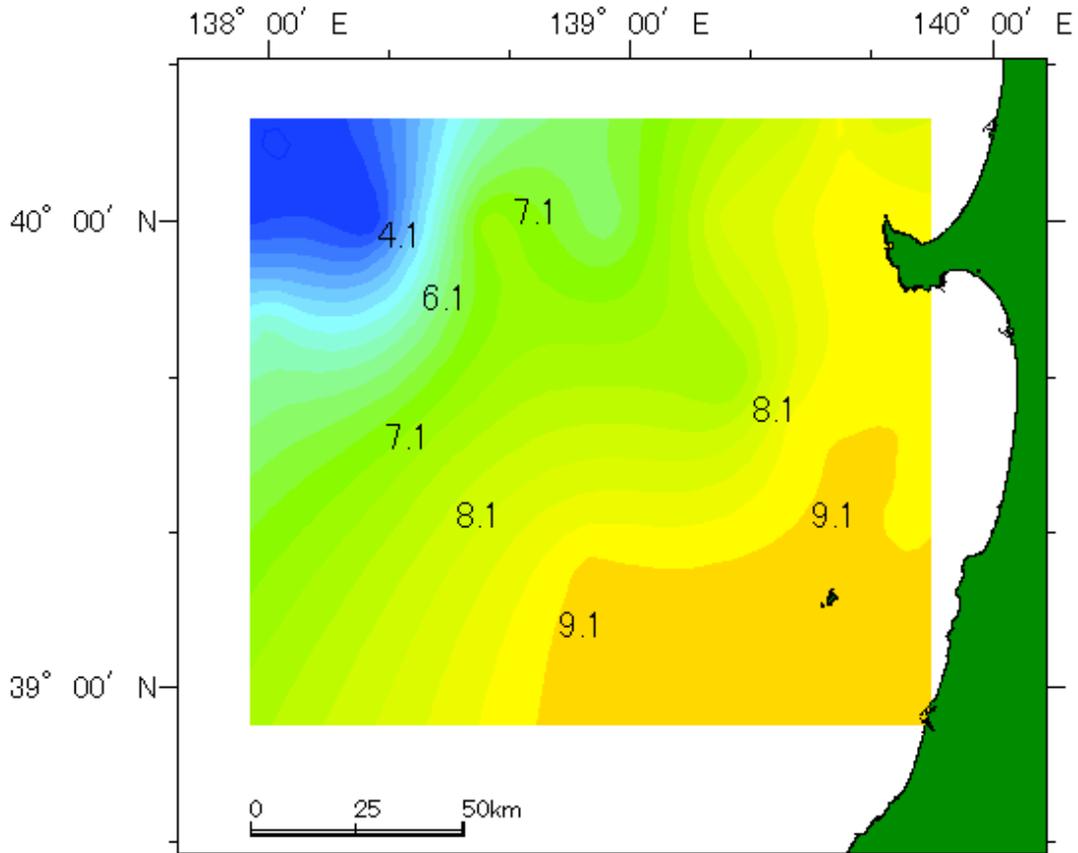


図6 水深100m層の水温分布

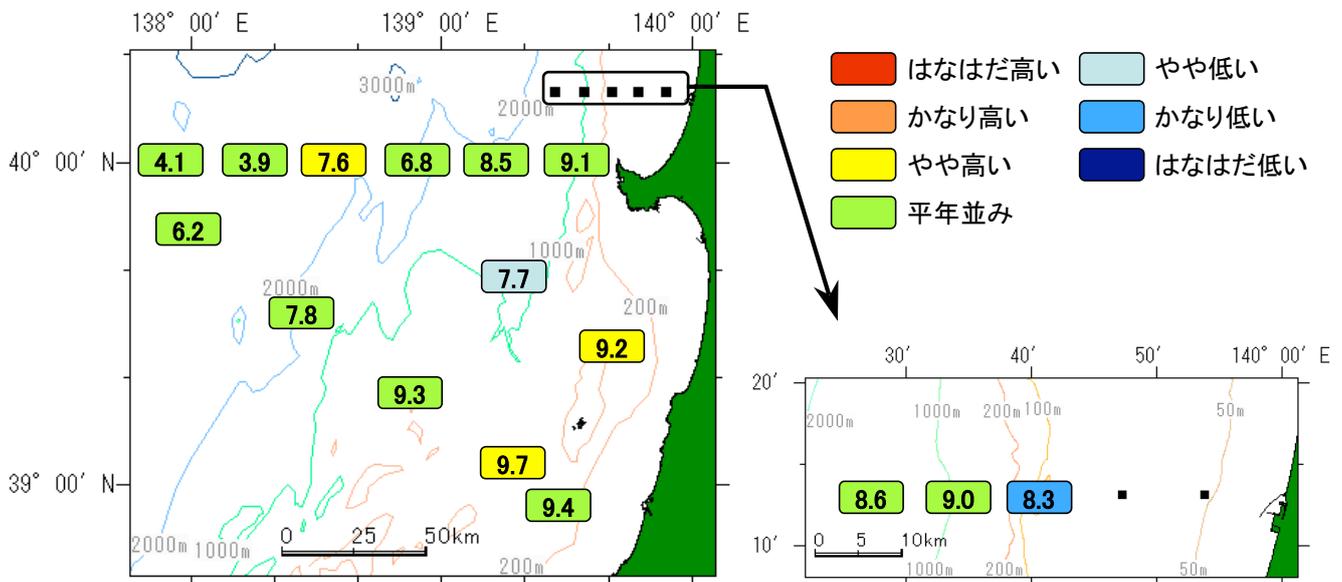


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

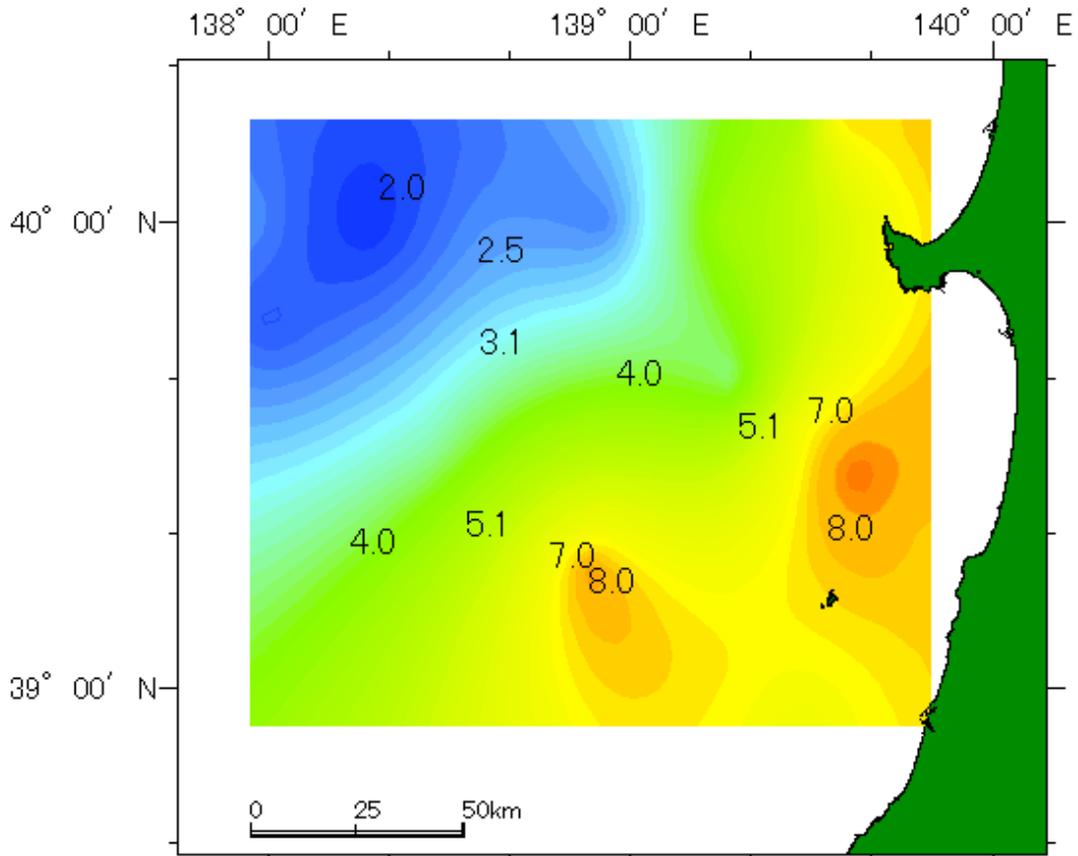


図8 水深200m層の水温分布

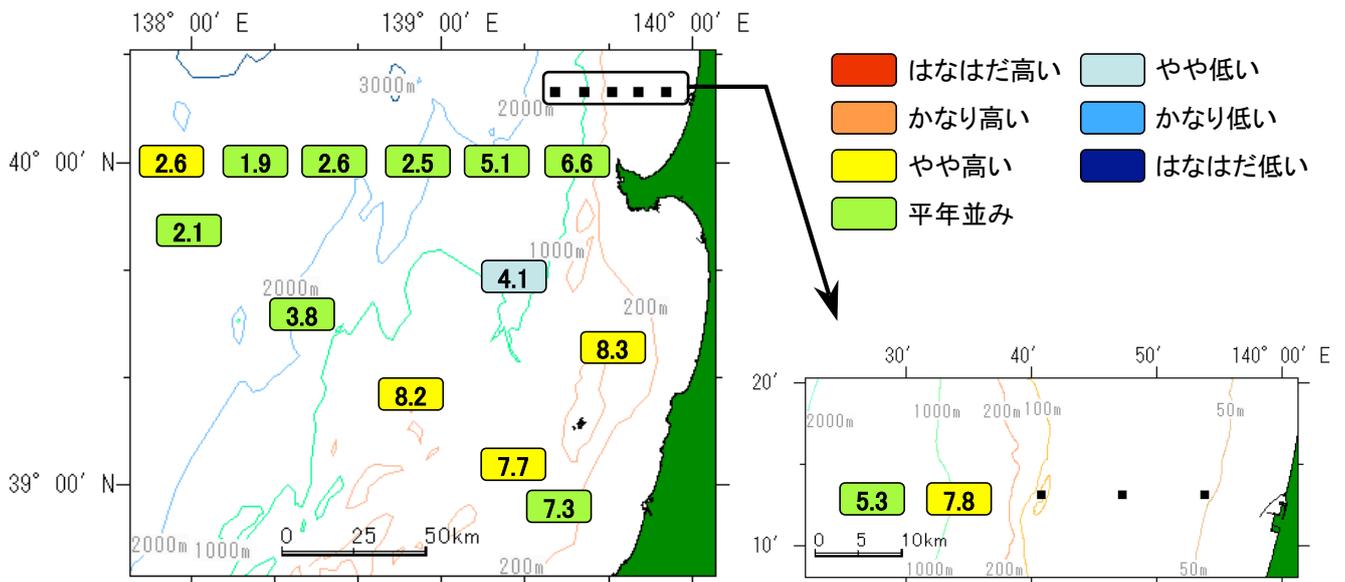


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)